夕刊
臺灣日日新報
三月十日

開戰三月陸軍の大戰果

大元帥陛下御滿悅
蘭印降伏を深更御聽取

【東京發同盟】御稜威の下昭南島に燦たる日章旗が飜つて二十二日南海は皇風に靡いて九日皇軍の威武は早くも蘭印を戡定したが畏くも大元帥陛下には天機愈々御麗しく九日刻々の戰況に次いで午後十時には深更にも拘はらせられず大本營からの蘭印の全面的無條件降伏の輝かしいわが戰果を御聽取遊ばされ、殊の外に御滿悅あらせられたと拜承する

西南太平洋敵聯合軍の主要根據地を覆滅す
皇軍の威武を中外に宣揚

【東京發同盟至急報】大本營發表（十日正午）一、帝國陸軍はわが海軍と緊密なる協同の下に開戰と同時に南方各方面の敵に對し攻勢作戰を開始し十二月二十五日香港島要塞を一月二日に比島の首都マニラを攻略し、マレー方面においてはあらゆる困難を克服して長驅神速隨所に頑敵を壓倒撃滅し、二月十五日シンガポール要塞の敵をして無條件降伏せしめもつて米英の東亞における三大據點を覆滅せりこの間敵側の連絡線を寸斷しまたタイ、緬國境シャン山系の天險を突破して深くビルマに更に南方遠く赤道を越えて蘭領東印度諸島に作戰行動を開始し、ビルマ方面においてはペグ及びラングーン周邊において敵軍主力を撃滅したる後三月八日首都ラングーンを完全に占領し蘭領東印度方面においては三月五日首都バタビヤを攻略し、爾後敵軍主力をバンドン附近及びスラバヤ附近に兩斷包圍してこれに猛攻を加へ三月九日遂に敵全軍をして全面的無條件降伏せしめ、ここにわが陸軍は開戰以來三箇月にして西南太平洋における敵聯合軍の主要根據地を覆滅し皇軍の威武を中外に宣揚せり

二、わが占領地は適切なる軍政の下治安着々回復し各住民の眞摯なる協力による復興の機運熾盛なるものあり

三、開戰以來各方面とも將兵の士氣極めて旺盛にしてわが軍は[illegible]の完整と相俟つて[illegible]の地に行動すること既に九十餘日に亙るも熱帶疾病極めて少數にして作戰上に及ぼせるこれが影響は殆ど皆無なり

（註）某兵團病院の一月末日における調査によれば入院患者一、三三三名中マラリア患者は僅かに九十名なり

四、開戰以來三月七日までに判明せる帝國陸軍の綜合戰果左のごとし

マレー方面
飛行機　撃墜一七二（不確實四六）撃破二〇四　鹵獲一〇
鹵獲　戰車四七六、火砲九九六、機關銃二、八二一、銃器六二、六四四、自動車一二、九四〇、鐵道車輛一、八五九、船舶舟艇二九五、撃沈破船舶舟艇八八
人員　俘虜九七、八〇〇　遺棄死體八、二一〇

比島方面
飛行機　撃墜一七（四）撃破一五二　鹵獲なし
鹵獲　戰車二六、火砲一五六、機關銃七七、銃器一五、六五〇、自動車四六二、鐵道車輛一七六、船舶舟艇九一、撃沈破船舶舟艇一五
人員　俘虜一、一〇〇、遺棄死體一、二一

ビルマ方面
飛行機　撃墜一七八（七二）撃破一一二（六〇）鹵獲一八七
鹵獲　戰車一九、火砲九四、機關銃七六、銃器三、三三三、自動車七三七、鐵道車輛二二五、船舶舟艇二二七、撃沈破船舶舟艇一七
人員　俘虜一、七〇六、遺棄死體五七、〇六二

蘭印方面
飛行機　撃墜八八（二四）撃破一九六（八八）鹵獲なし
鹵獲　戰車五三、火砲一〇六、機關銃五三八、銃器四、二七四、自動車五七四、鐵道車輛五四一、船舶舟艇二、撃沈破船舶舟艇九
人員　俘虜五、九四七、遺棄死體六八五

英領ニューギニア方面
飛行機　撃墜三　撃破なし　鹵獲五
鹵獲　戰車八、火砲二八、機關銃七七、銃器三八五、自動車二二〇、鐵道車輛なし、船舶舟艇一〇、撃沈破船舶舟艇なし
人員　俘虜五九一、遺棄死體二〇〇

香港方面
飛行機　撃墜一二（一）撃破一七　鹵獲五
鹵獲　戰車一〇、火砲一二二、機關銃一、〇二〇、銃器九八八、自動車一、四七〇、鐵道車輛三〇九、船舶舟艇一四二、撃沈破船舶舟艇五
人員　俘虜一一、二四一、遺棄死體一、五五五

グアム方面
飛行機　全部なし
鹵獲　戰車なし、火砲二、機關銃一四、銃器八一三、自動車一四〇、鐵道車輛なし、船舶舟艇一一、撃沈破船舶舟艇なし
人員　俘虜六四三、遺棄死體なし

合計　飛行機、撃墜四八〇（一四七）撃破六八一（二〇〇）鹵獲二一
飛行機のみの合計一、一八二（二四七）
合計　鹵獲、戰車五九二、火砲一、四〇四、機關銃四、六三三、銃器八七、七〇七、自動車一六、五四三、鐵道車輛三、一一〇、船舶舟艇七六七、撃沈破船舶舟艇一三四
人員、俘虜一一九、〇二八、遺棄死體七九、九九九

備考　マレー方面の遺棄死體はジョホール・バル突入迄のものなり

濠洲、新西蘭全く孤立

【東京發同盟】英、米、[illegible]の最後の據點基地として[illegible]九日遂にわが軍門に降つた、皇軍の新[illegible]ジャバ島に敵前上陸を敢行し[illegible]九日、これによつてオランダ政權は滅亡すると共に蘭印全島[illegible]における英米の勢力は全面的に[illegible]南洋の要衝は全く孤立するに至りわが方[illegible]によつて米英側の蒙る打撃は蓋し甚大なものがあらう

蘭印全土戡定慶祝
長谷川總督祝電發す

蘭印戡定の大戰果について長谷川總督は十日東條陸相、杉山參謀總長、寺內南方方面陸軍最高指揮官、今村蘭印方面最高指揮官、嶋田海相、永野軍令部總長、山本聯合艦隊司令長官、現地陸軍最高指揮官に宛夫々左の祝電を發した

蘭印全土戡定の快報に接し謹みて慶祝の意を表すると共に將兵各位一層の御武運長久を祈る

大戰果祝ふ
總督、軍司令官訪問

輝く陸軍記念日に迎へる蘭印全土戡定の大戰果を祝し長谷川總督は十日午前八時五十分官邸を發つて臺灣軍司令官を官邸に訪問、用意のシャンパンが拔かれここに總督の將軍が感激の杯を擧げて皇國の彌榮を祈り、總督は間も無く軍司令官邸を辭去、續いて同十一時に軍司令官が總督官邸を答訪した

浮草政權の正體暴露
亡命蘭政府絕望の聲明

【リスボン九日發同盟】ロンドンのオランダ亡命政權は本國を失つて後最大の國據[illegible]を失ふこととなり、[illegible]世界大戰中最大の悲劇[illegible]ているが、九日ロンドン放送によれば同政權は同日聲明書を發表國土を喪失した浮草政權の正體を暴露した、聲明次の通り

本政府（オランダ亡命政權）と蘭印とは最早直接連絡なく蘭印敗北に關する情報は連絡出來ない

現在蘭印の事態も皆目不明である、現地司令官に對しては最後まで戰ひ拔くやう指令してあつた、若し抵抗が無益となれば現地司令官が適宜の處置に出る自由を有するがその權限は飽まで一地域に限定さるべきである

米英を恃んだ愚
オランダの悲劇的終焉

【ベルン（スイス）九日發同盟】在ロンドン亡命オランダ政權は蘭印軍の降伏直前にバンドンから受信した最後の無電の戰況報告を九日發表した、右報告は米英の來援を恃んだ愚を率直に告白し米英の甘言に釣られてマレーにまで出兵したことを後悔しオランダの悲劇的終焉を自認したものである、エキスチェンヂテレグラフ通信によればその內容は左の通りである

日本軍は四十八時間の猛攻の後遂に蘭印軍のバンドンの守りを突破することに成功した、ジャバ防衛の悲劇は蘭印軍がマレー戰參加により飛行機を多數喪失したために著しく深刻となつた蘭印の戰ひはシンガポールの陷落よりも一層深刻なるものであつた、なんとなればすべての點に優れた日本軍を相手とせねばならなかつたからである、二月末には日本軍は不十分な兵力によつて守られたジャバを殆んど取卷くに至り蘭印艦隊は日本軍を阻止せんと企てあらゆる犧牲を拂つたが及ばず遂にその主要軍艦を殆ど失ひスラバヤはもはや海軍基地ではなくなつてしまつた、蘭印軍は日本軍の大軍を上陸させた、蘭印軍は日本軍のバンドン地域到達を阻止すべく必死の防戰を續けてゐたが長く防戰は不可能であつたのだ

對日包圍陣營
三ケ月で粉碎

【東京發同盟】陸軍記念日の前日に方り蘭印全土は遂にわれに降伏したこの赫々たる大戰果によつて英米蘭聯合軍が呼號して[illegible]

爪哇上陸一週間
赫々たる大戰果

【バンドン北方にて八日同盟特派員發】蘭印軍は遂に降伏した去る一日一齊上陸に成功してより僅か一週間である、わが西部（バンタム附近）中部（インドラマーユ附近）東部上陸部隊は二日早くもカリジャチ飛行場を占領しここにわが〇〇隊は間髮を入れず蹶進を逐られて進出した、かくて作戰開始ジャバ島西部の制空權は完全にわが手中に歸してこの方面の戰局は既に決定したも同然であつた、ついで同方面の有力部隊は戰車隊を先頭に進撃路を西及び西南にとり前進、西進部隊は北部海岸道沿ひに猛進四日にはブルワカルタを占領ここにバタビヤ、バンドン間の鐵道連絡は先づその半ばを切斷された、一方西南進撃部隊は南地區の一部を以て猛進また猛進を續け敵の陣地を突破して四日夕刻早くもバンドン北方の[illegible]に迫り敵の心臟部に匕首を突きつけるに至つた、また西部上陸部隊も上陸後直ちに數方面に分れて急進、東南進せる主力は四日夕刻までに[illegible]鐵道及びバタビヤよりの南下鐵道上の諸要衝を占領してバンドン西北方及び西方に進出一部は五日夜バタビヤを攻略してここに敵の首都バンドンは我が北方及び西方の三方面よりする半圓形封鎖陣の前に全く孤立無援の狀況となつたのである、かく堂々たる攻圍態勢をひしひしとバンドン包圍陣を壓縮し一方東部（レンバン東方）上陸部隊はこれより先既にスラバヤ西方西南方の包圍陣を完成して蘭印軍はここに寸斷東西の中心都市は僅か數日にして[illegible]勢不利の蘭印軍當局は遂に七日夜半近く全面的降服を申出るに至つたのである

緬甸獨立の黎明訪る
重慶、印度への脅威甚大

【東京發同盟】過去五年に亙り支那事變の遂行を妨害し續けて來た援蔣ルートの破碎と二つの大きな目的とせるビルマへのわが進攻作戰は、敵が天與の要害を自負したシャン山系の嶮峻國境をも物ともせずイギリス、ビルマ防衛軍を陷落せしめ、去る一月廿五日、日泰兩國共同して[illegible]八日遂にその首都ラングーンはわが猛攻の前に陷落した、蔣介石軍の北部ビルマ進駐を許し北方から[illegible]タイ國を脅威せんとした英の企圖[illegible]

[illegible]

緬甸・陸鷲絶大の活躍
三百六十九機を撃墜破

【東京發同盟】ビルマ方面わが陸軍航空部隊は昨年十二月十一日タボイ飛行場攻撃を以てビルマ方面の航空撃滅戰を開始し同月二十三日、二十五日の兩日に亙り熾烈なるラングーン大空襲を敢行、ビルマ全土の航空撃滅戰に入り[illegible]

敵飛行場攻撃回數六十六回、敵機撃墜破三百六十九機（內不確實七十八）敵船撃沈大破十七隻（內三隻撃沈）

八百萬

[illegible]

米國朝野茫然自失

【ベルン（スイス）九日發同盟】ニューヨーク來電によれば[illegible]

濠洲緊急閣議

【リスボン九日發同盟】シドニー來電、カーチン首相は九日緊急閣議を開催した、同政府は同時に[illegible]

重慶輸血路に止め

【リスボン八日發同盟】日本軍は[illegible]

爪哇島[illegible]船の內譯

【東京發同盟】[illegible]

蘭印外交[illegible]
感慨の芳澤大使

【東京發同盟】[illegible]

人事

[illegible]

コドモ トナリグミ ジョウカイ
ボクラノ
ジョウカイデ
エンピツハ
ヨイカキヨイ
トンボエンピツ
ニキメマシタ。
トンボ鉛筆

新しい肌の榮養素　液狀クリーム
クラブ
ホルモンフード
綜合ホルモン配合

姙產婦のために
虛弱兒
何が必要か！
姙產婦の榮養增進＝ビタミンB1B2Dの完全攝取
虛弱兒の體質強化＝ビタミンB2・カルシウムの補給
これには……ビタミンB複合體、ビタミンD、カルシウム、燐等を綜合配劑せる強力榮養源エビオゲン錠の服用が適切。
エビオゲン錠
一五〇錠・一圓五〇　五〇〇錠・三圓七〇（全國藥店百貨店に有り）
ライオン製藥株式會社

感冒
化膿菌・淋菌のみならず肺炎菌・インフルエンザ菌をも撲滅するテラポールの生體內殺菌作用は既に昨冬、感冒・肺炎・氣管支加答兒・扁桃腺炎・中耳炎等に廣く實驗せられて顯著なる治癒効率を示したり。
東京・大阪　第一製藥株式會社
テラポール錠

健康で今ぞ一億
戰ひはこれからだ！
增健・榮養ビルツ劑！

ホシ ミクローゼ
星製藥株式會社

擧島「必勝の道」突進め

大東亞戰下に迎へる 感激の陸軍記念日

誓も固く六百萬總進軍

ビルマの首都ラングーンの完全占領に引續き爪哇の蘭軍無條件降伏で全東印度の戡定を完了し、東亞の天地から米英の勢力が殲滅した皇軍の赫々たる大戰果に一億國民の感激[illegible]く、歡聲正に天に沖するうちに十日、大東亞戰下初の陸軍記念日を迎へた、三十七年前のこの月この日、奉天入城の感激も新たに嚴然たる勝鬨の喜びに沸き返る中に輝く第三十七回陸軍記念日を迎へた本島は[illegible]一人多く、國民は今更ながら皇軍の勇武と勞苦に感謝の誠を捧げると共に一億總進軍の念を新たにしたのだつた、皇軍に感謝の誠を捧げようとこの日を期し、國旗を掲げて島民感謝週間が始まり、津々浦々に翻へる日章旗の下、正午、六百萬島民は帝國の萬歲に感謝を捧げ、皇軍の武運長久を祈念し、臺灣神社、[illegible]神社、[illegible]、白衣の勇士慰問、寄贈獻納、若人の模擬戰、演武會など種々の行事は一齊に繰擴げられ、六百萬島民はあの日を誇りの日とし、また同時にさらに大きく伸びんとする『力の日』として輝かしき臺灣の出發の日とし、大東亞戰爭目的達成に戰ひ拔く誓ひを新たにした

歡喜 を噴騰させた、又午後からは[illegible]武德殿で[illegible]主催の武道大會が開かれ、各分會對抗の優勝旗爭奪戰が展開された

新竹【新竹電話】十日の陸軍記念日新竹市においては在鄕軍人、銃後、中等學校合同、午前四時集結し東門を中心に市の東北より勇壯な市街戰の模擬市街戰を行ひ銃砲聲は市民の夢を破つて同六時終了、それより州廳前で長谷川總督部長臨席の下に閱兵分列式を擧行した、この日を期して奉公班を通し慰問袋、慰問文作製などそれぞれ皇軍への感謝慰問の運動が行はれまた一方保甲では[illegible]保甲會議を開き更に[illegible]の運動も展開された、夜は七時から國民學校で[illegible]講演會が開催された

感謝と感激の坩堝

帝都 軍國一色に塗潰さる

【東京發同盟】ラングーン占領、蘭印の敵軍降伏と捷報相次ぎ皇軍の武威燦として中外に輝く内に迎へる大東亞戰下初の陸軍記念日今日十日一億國民の面上は喜悦と決意に輝き、感激と感謝の催しが全國津々浦々に繰擴げられた、この日帝都では春雨煙る中を午後二時から陸軍軍樂隊及び近衞師團喇叭隊の勇壯な合同行進が行はれ

戰捷 を祝ふ堂々の行進は宮城前と市内を軍國一色に塗り潰した、また午後一時から日比谷公會堂で櫻井忠温少將などの陸軍記念日講演會、午後六時から日比谷公會堂で「陸軍記念日講演會」が開催され東條首相以下が熱誠を捧げ三十七年前の今日奉天陣營の感激を偲び、承詔必謹獻身奉國の精神に燃え大東亞戰完遂の決意を固めたが、ラジオの記念放送や市内各百貨店の展覽會など多彩な行事が繰擴げられた、また日本勸業銀行ではこの記念日に市内十ケ所で國債[illegible]時局債券、愛國債券出張賣出しを行ひ全國の貯蓄銀行でもこの日が丁度第七回[illegible]で遞信省貯金局と協力貯蓄運動を展開した

財團法人の組織に 高砂族協會を改組

新竹州近く當局に認可申請

【新竹電話】新竹州では理蕃課員及び其家族並に高砂族の教化振興生活向上に資する資金捻出の一方法として昭和十四年高砂族協會を組織しこの事業として山林開發に努め來つたが山の青年達の努力によつて成績見るべきものあり又現下生產擴充に一層邁進せねばならぬ時でもあるので從來の如き任意組織では遺憾の點もあるので理蕃當局では今回之を財團法人の組織に改めるべく計畫を進め大綱成案を得たので九日明野蕃務課長以下係官[illegible]協議の結果決議した、近く總督府に認可申請方協議するが實現の曉は本島[illegible]に資する所大なるものありとされてゐる

名譽の家を慰問する國民學校兒童

蘭貢陷落に湧く

泰國民滿腔の感謝示現

【バンコック十日發同盟】ラングーン陷落の公式發表されるや泰國朝野は擧げて日本軍の神速果敢なる猛攻に絶讃を浴びせると共に泰國に對する直接の脅威が日本軍の手によつて除かれたことに滿腔の感謝を示し、政府は直ちに目下實行中の燈火管制の一部解除を命ずると共に十日より三日間戶每に日章旗を掲揚し全市を擧げてラングーン陷落を慶祝することになつた

臺北州教育會例會 臺北州教育會では十四日午後一時から臺北市樺山國民學校で十六年度殉職教員物故會員慰靈祭を行ふことになつた

特免本革更生革靴
本品は優良中古靴を完全に修理改造した品で耐久力も新品同樣の値段も半分にて絶對安心です
優印短靴 一足 十一圓
秀印短靴 一足 十一圓九〇錢
特選短靴 送料共 十三圓七五錢
特選編上靴 送料共 十四圓五十錢
▼送料外地六十錢
●御注文は送料共前金にて
不向取替
返金自由
カタログ進呈
名古屋市東區百人町
富松商店
振替名古屋三〇七番

近代攻城戰を彷彿

部隊、學徒連合模擬戰展開

明朗の春、輝く陸軍記念日を迎へ[illegible]部隊では早朝から臺灣神社や[illegible]神社へ參拜し、市民も朝から[illegible]ず[illegible]かな社頭や練兵所近は大[illegible]

建設 の前哨戰とも呼ぶべき日露戰役に輝かしい勝利を贏ち得た當時を偲び、新たに蘭印の敵軍降伏の報に感激する將兵の武運長久を祈念すると共に米英を擊滅する日迄戰ひ拔かうとの決意を神前に誓つたのだつた、かくて陸軍記念日の行事は頗る多彩に展開されたがこの日の記念行事の壓卷版とも言ふべき臺北所在の帝大、高商、師範、公私立中學、農業、青年學校生徒約三千名が參加する一大模擬戰は午前七時、三軍部隊長の下に實施されたが第三部隊、第五部隊の將兵や學校配屬將校若干名も特別參加し東部地區、西部地區に分れ臺北市を大東亞共榮圈建設地區の十四區に區分し總督府に目標をおいてここに壯烈な攻防戰を展開、[illegible]防禦軍の十字砲火を冒して來襲する攻擊軍は朝靄立ちこめる中に包圍網を縮め

近代 攻城戰もかくやと思はれる模擬戰を現出し、八時二十分ごろ攻擊軍は最後の突擊を敢行し遂に三道路に展開された防禦軍の本部陣地を奪取に成功、[illegible]より擧がる勝鬨[illegible]

終了した、それより演習參加部隊は午前九時半、總督府前に集結、長谷川總督を統監官とし、長谷川總督閣下の下に本演習の最後を飾る分列式が行はれた、正田中佐の指揮刀一閃、喇叭の嚠喨たる響に合せて帝大部隊を先頭に、歷史と傳統を誇る校旗を先頭に押し立てて歩武堂々と分列行進、閃く銃尖はさくさくと足並整然とアスファルト鋪道を一歩一歩と踏みしめて行進する若人の面ざしは

皇國 青年に生れた幸福感に輝き勇氣邁進の氣概ははち切れさうな健康體に包んで、假令前途に如何なる艱難が橫たはらうとも敢然としてふみ越えんとの意氣が溢れて凜々しくも力強い、軍司令官に頭右の敬禮を行ひつつ一隊また一隊と分列行進は限りなく續き、戰捷の春に一大皇國繪巻を展開したが終つて長谷川總督の發聲により萬歲を奉唱した

基隆【基隆電話】十日輝かしい陸軍記念日を迎へた基隆市では午前十時高砂公園に於て在鄕軍人、消防組、各官衙、各種團體、學校生徒、兒童約五萬參加の下に

日露 戰爭を偲ぶ意義ある記念日大會を擧行し護國の英靈並に皇軍の勇士に對する敬意と感謝の念を新にし、皇軍の武運長久を祈願、橫山市長の式辭、藤原七十一部隊長の告辭の後萬歲を三唱して一層一心必勝の信念を強固にした、更に在軍、中等、青年、防衞、青年、壯丁各團體數隊は七十一部隊長統閱、[illegible]軍司令官閣下臨席の下に同十一時市役所前で勇壯な分列式を行ひ、銃後の青年此處にありと歩武堂々の意氣を示し一方各國民學校兒童の旗行列は丁度ジャバ島占領の勝報も一緒に全市を萬歲と旗の波にどよめかし、小國民の

〃この日〃を偲ぶ將兵

第二二、五部隊で諸行事實施

大東亞戰爭下初に迎へた第三十七回の陸軍記念日に當り第三、第五兩部隊では

戰捷 に一段と緊張を加へた中に意義深き此の日を偲ぶ行事を實施した

第三部隊 午前四時各部隊毎に非常呼集を行ひ隊伍堂々臺灣神社及び陸軍墓地を正式參拜、九時より松尾部隊長の訓示があり引續き各部隊に於て精神訓話を行つた

第五部隊 午前九時三十分から營內士庭に於て各部隊對抗の相撲大會を擧行、相撲つ勇士の熱戰ぶりをみせ引續き臺上[illegible]に移り

奇想 天外の[illegible]演藝し、白兵戰など大熱闘し、將兵を歡はせる愉快なる[illegible]

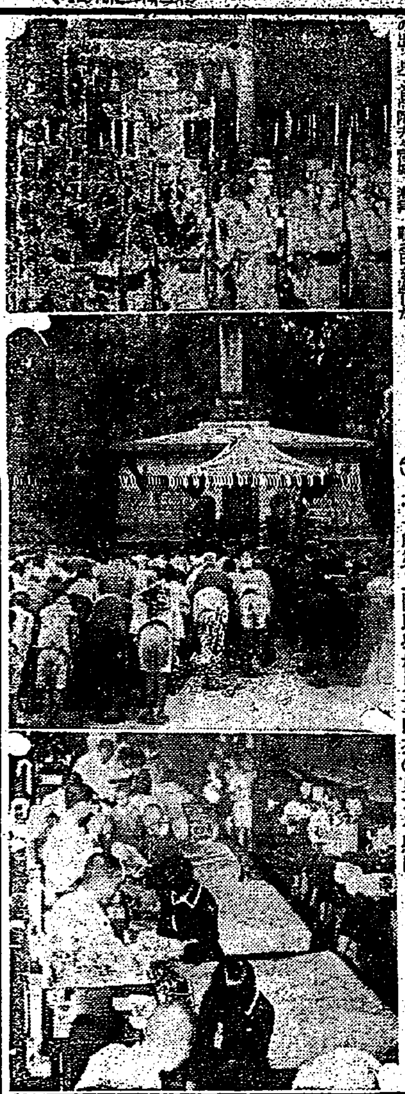
實戰そのものの火砲分解、組立、空中戰射等の競技に喚聲を揚がす砲擊、喊聲、[illegible]最高潮に達し、十一時三十分谷本部隊長の訓示があつて有意義に終了した

基隆公會堂で記念日講演會【基隆電話】今夜八時から基隆市陸軍記念日講演會は公會堂に於て[illegible]中佐により〃大東亞戰下の國民の覺悟〃と題して講演催される

占領後初の記念日

昭南島に感激の日迎ふ

【昭南島十日發同盟】占領後初の陸軍記念日を迎へて昭南島我が陸海軍將兵は十日早朝日の出と共に各部隊夫々宮城遙拜し大東亞戰完遂を誓ひ軍歌を奉唱した、陣中のこととて赤飯附の野戰料理で意義ある記念日を過した



陸軍記念日畫報 ㊤第三部隊將兵の臺灣神社參拜 ㊥國民學校兒童の陸軍墓地參拜 ㊦北一師第二國民學校兒童白衣の勇士を慰問

連合模擬戰 （上）總督府前の分列行進（中）火砲の猛射（下）白兵戰

共榮圈建設完遂に 臺灣の責務は重い

蘭印戡定 長谷川總督喜びを語る

蘭印軍が遂に我が陛下に城下の盟を求め、シンガポールの陷落にも比すべき蘭印全土戡定の大戰果は陸軍記念日の十日六百萬島民の感激を爆發させた、この感激は打續く

戰捷 の歡びに誇つて更なる感謝のコーラスを奏で行人の足を輕やかにはずませてゐる、この感激を手にして十日早朝官邸に長谷川總督を訪へば

早いとこ全くあつけ無く片附いたものだね[illegible]敵に[illegible]として相當[illegible]は相當[illegible]を見せるボルネオ等では相當抵抗があつたが一日の上陸以來僅か八日間で蘭印の戡定を見たことは[illegible]兵力に次いで海軍兵力を全滅したことにあるのだ

と前置きして

之も偏へに陛下の御稜威の然らしめる所で

皇軍 の勇敢奮闘に對しては感謝の外はない、同時に戰死戰傷の將兵に深甚の敬意を表してゐる、特に皇軍向ふ所敵無くあり、又[illegible]戰場の火の如き進擊振りは實歎に値する、之から印度、濠洲に何う云ふ作戰が進められるかは我々出先の者が喋々すべきでないが之に依つてABCD包圍陣は完全に打破せられ、蘭印としては今度の如く米、英の誘惑に乘つた己が過誤を悔いてゐるやうでしかし米英の政策に踊らされてゐた蘭印の立場としては無理もなかつたとも云へる[illegible]の提供が[illegible]つりと

何時 果てるとも知らぬ軍事的に見れば蘭印の陷落によりベンガル灣、印度洋は日本潜水艦の脅威に完全に曝され濠洲ニュージーランドは孤立することになるが濠洲としてはどこまでもなかなか油斷がならぬ、大局を制するに至らずとも敵はちよいちよい機に乘じてゲリラ戰で出て來ようから何處に現はれるか分らぬ所に骨が折れる

これ迄話すと總督の話はずつと將來の見透しへ、蘭印の何の爲[illegible]けて

をとつても日本[illegible]州位はある鑛產資源あらう、之を住民が引換へに日用品を購入してゐた

生活 の資料だ、此處に今後の建設工作に於ける大きな問題がある、我々としては老練な政治家が夫々顧問等となつて出て行つてゐることに信頼せねばならぬ、何時も話す通り臺灣としては領臺四十餘年の經驗が生きることになる、農林、畜產、衞生等の各分野に亙つて技術家も送り得る、こちらは缺員を生じても餘勢で通じどしどし人を送つてゐる

る考へだ、何せ日本の領土では最も南洋に近く東亞共榮圈建設の完遂には最もいい立場にあると云へよう

と引續き南方經營の一翼に加はれて臺灣の重要な立場を強調して口を閉ぢた

（寫眞は喜びを語る長谷川總督）

兄弟みな秀れた武人

西中佐・覆面脫いだ今村中將を語る

昨夜七時二十五分大本營發表によつてその覆面を脫いだ蘭印方面陸軍最高指揮官今村中將について臺灣軍司令部西中佐は左の如く語る

今村閣下は中將で[illegible]を首席で[illegible]の軍刀組で部內切つての

逸材 だと謳はれてゐる、私が南支で部隊長をやつてゐる折今村中將は丁度南支最高指揮官だつた、性格的な特徵など絶對に現はさない方で、部內では偉い所のある人だと非常な秀才だ、どこに置いても使へるといふ定評の[illegible]といふ型の武人で温厚で部下には內輪の話に情深い方だつた、南寧作戰では一番寒かつたが非常に骨折られたがこの事は戰場に[illegible]周知の話である、令弟が三人おいでになるが一番目の令弟はあの有名な馬術家として知られオリンピックにも出場された今村安大佐で、目下某部隊長をして居られる、二番目の方とは私が士官候補生時代に同隊に勤務してゐた誼みがある、三番目の

令弟 である今村方策中佐は私と陸大學生時代に一緒だつた、目下陸軍省兵務局に居る。まさに御兄弟みな優秀な軍人だ、蘭印も陷ちて閣下も非常に喜んで居られることだらう（寫眞は西中佐）

戰利品展覽會開幕

硝煙の香り觀覽者の胸を打つ

皇民奉公會臺北市支會主催、軍報道部、府情報課後援の大東亞戰爭戰利品展覽會は輝く陸軍記念日の十日から華々しく開幕した、先づ午前十時から軍官民七百餘名の招待觀覽あり午後一時から一般公開、定刻前から參觀者殺到し、硝煙の香り生々しい大東亞戰の戰利品や寫眞などぎつしりと出品した陳列品を見て、皇軍將兵の勞苦を偲び、今更ながら皇軍の勇武に對し深甚の感謝の眞心をささげ、その勇武に絶對の信頼の念を寄せ、必勝の信念を振起し、また場內に展示した[illegible]會議所の慰問品の前には慰問人の黑山を築き、〃私も三つ〃〃僕も五箇〃と慰問袋を申込むもの多く係員はこれが應接に嬉しい悲鳴を擧げ皇軍感謝週間初日に相應しい感激の幕を開いた、尙この展覽會は十九日迄毎日午前九時から午後六時迄一般に公開される

貨物列車脫線

水牛を轢き倒す

十日午前十一時[illegible]民雄間で[illegible]信號所北方四百米の踏切で午前十一時二十八分嘉義驛發彰化行五〇六貨物列車は水牛を轢き倒し機關車並貨車共十一列車が脫線、當牛の本島人一名に打撲傷を負はせた、脫線箇所は嘉義、彰化機關區及嘉義保線區員の手で復舊を急ぎその間斯線を切替へ運轉を行ひ午後三時頃までには復舊の見込である、このため上りは二列車（午前八時五十分高雄發臺北行上り急行）及び一四列車が嘉義にて折返し下りは二五列車が民雄で折返したが下り一列車（午前九時三十分臺北發高雄行）は平常通り運行される、尙從つて上り急行乘車客の臺北着は午後八時二十分及三番列車になる模樣である

陸軍に少年砲兵

本年から愈よ實施

【東京電話同盟】陸軍では今回「少年砲兵」を設けることとなり本年から採用する、既に航空、通信、戰車の各兵科に少年兵制度が採用されこれら少年兵は支那事變及び今次大東亞戰に赫々たる武勳を建てつつあるが砲兵においても一層技術を練成せしめるため少年の時代からそれぞれの特技に應じて訓練し將來砲兵戰の中堅幹部たらしめようとするものである、その特技區分は

一、測遠機による距離測量（一般砲兵の射擊基礎となるもの）

二、音源測定機による敵砲兵位置の決定（遮蔽陣地及び霧、闇などの隠況中において敵砲兵の發射音を捕捉その所在を確認する）

三、寫眞の撮影及び寫眞の判讀力（特殊寫眞機をもつて地上或は空中より遠距離なる地域を撮影し目標の輪廓間隔を判斷し目標の位置標高など射擊諸元を決定する）

四、水中聽音機による敵艦船の捜索及びその位置決定（海岸要塞において夜間または濃霧などの隠況裡に近接せんとする敵艦船潜水艦などから發する微細な音響を聽取して射擊諸元を得る）

五、測候機による飛行機の高度測定（高射砲兵の射擊諸元決定上重要基礎となるもの）

六、空中聽音機による飛行機の搜索（水中聽音機同樣夜間濃霧などの內に攻擊せんとする敵機の爆音を聽取してその所在を搜索する時にはこれによつて射擊する）

などより成り一及び二、三を特技とするものを野戰砲兵學校へ、四を特技とするものを陸軍重砲兵學校へ、五及び六を特技とするものを陸軍防空學校へ、それぞれ在學二年の期限をもつて低學入校せしめる、採用方法は現役の陸軍下士官を志願するものをもつてしその年齡は入校年の三月末日において年齡十五年以上十八年未滿のものである、本年度における志願者は志願票及び戶籍謄本を添へ五月三十一日までに希望する檢査所管の聯隊區司令官または兵事部長宛に郵送するやう提出すればよい、採否を決定するため身體檢査及び學科試驗を行ふが身體檢査は八月中旬から同下旬に至る間に實施されこれに合格したものに對して同月下旬に學科試驗が行はれ合格者は前記各校へ十二月に入校の豫定である同少年兵は教育課程修了後は先づ下士官となつて陸軍部隊の中堅として活躍するものでまた航空、戰車等の少年兵と同樣少尉候補者の採用試驗に合格すれば陸士に入校その課程修了後少尉に任官更に上級官に進み得る餘地が開けてゐる

奉公班常會に皇奉支部役職員を動員

【新竹電話】皇民奉公會新竹州支部では八日の大詔奉戴日に[illegible]部長以下役職員を動員州下[illegible]奉公班常會に臨席指導を努めしめその使命を果さしめて今度の常會を[illegible]各地とも概ね役員の熱意の努力により何れも好成績で皇軍への感謝、國民貯蓄、正條植[illegible]等が徹底され、尙[illegible]では當日[illegible]の戶口に奉公班常會と朱書した提燈をぶら下げて明示し大いに效果を收める等の方法もとられてゐる

島民赤誠の獻金

軍司令部・意義深き記念日に

意義深き陸軍記念日午前中迄に軍司令部にもたらされた島民赤誠の各種獻金は國防獻金二千四百五十四圓、恤兵金五千百三十四圓、計七千五百八十四圓に達し、當局を感激させた

戰捷第二次祝賀行事

十二日施行に決定

【東京發同盟】政府は今次蘭印降伏の機會において皇軍の赫々たる戰果を慶祝するため左の決定により戰捷第二次祝賀行事を十二日を期して施行することに決定した

情報局發表　戰捷第二次祝賀行事に關する件

一、期日三月十二日

二、行事（イ）當日全國各戶に國旗を掲揚する（ロ）當日正午を期し全國民各々所在において陣歿將兵の英靈と皇軍の武運長久とのために祈念を捧ぐ　但し當日各學校においては適當なる祝賀行事を行ふも差支へなし

三、外地は當該地域の事情に應じて適宜慶祝行事を行ふものとす

蘭貢占領を賞讚

獨逸各紙大々的に報道

【ベルリン九日發同盟】日本軍がビルマの首都ラングーンを占領したとの日本大本營の發表は獨逸朝野に多大の反響を呼びベルリンの各新聞はいづれも八日の夕刊でこれを大々的に報道、主要紙の論評左の如し

ベルリーナー・ロカール・アンツアイガー紙 日本軍のラングーン占領はその作戰上の重要性から見て英國にとつて[illegible]結果であるが日本軍が[illegible]征服の途にのぼり、あらゆる方面に於て[illegible]聊かの弛みもなく進軍を續けてゐることは感嘆の外ない

ベルリーナー・ベルゼン・ツアイトング紙 日本軍のラングーン占領に當り想起すべきは去る二月四日の英紙デイリー・メールの記事である、即ちその記事ではラングーンをもつて援蔣補給路の唯一の要衝、りとしまた若し日本がこれを占領すれば印度は即時且つ直接の脅威を受けるとなしてゐる、今や日本軍はこのラングーンを占領した、これはビルマ戰局に一轉機を劃したものでその意味は正に[illegible]の[illegible]たるところとなるであらう

ドイツチエ・アルゲマイネ・ツアイトング紙 ラングーンの占領により日本軍はビルマの最重要港を扼するに至つた、即ちラングーンは世界最大の米の輸出港であると共に印度物資の輸出入港としても亦極めて重要な地位を占めてゐる、英國がラングーンに[illegible]の手を印してより[illegible]十年今日本軍はこの英國の[illegible]を占領したのである

晝間送電復活

澎湖廳民に福音

【馬公電話】[illegible]澎湖支店に於ては一時中絶してゐた晝間送電を復活することになり、督府當局の特別配慮の下に重油の供給を受けこれが實現を見るに至つたので一般島民は頗る感謝してゐる

月例修養向上會 修養團臺灣聯合會主催三月の月例修養向上會は十一日午後七時三十分から約二時間に亙り市內泉町赤十字病院二階講堂に於て開催されるが特に同夜は元國際聯盟保健部東亞次長並に新嘉坡日本人會長として南方亞細亞の各地に在つて南方事情に造詣深い臺北帝大教授[illegible]大內恒氏を招聘〃南方を語る〃と題する講演を聽くことになつてゐる、多數の來會を希望してゐる

新發見！室内で栽培出來る
公定一斤百二十三圓の藥草
朝顏は京都が日本一！
[illegible]
京都農園

頭髪は
清潔に
整然と
純粹植物質
千代田ポマード
東京・大阪　株式會社　千代田山岸商店

原料香水
よいかほりの永く保つ
オリヂナル香水

衛生口中殺菌劑
カオール
飲食の後に
外出時に
人込に
疲勞倦怠に
カオールの
御常用を
東京・日本橋・小舟町
本舗　株式會社　安藤井筒堂

Columbia
スッペ
傑作序曲集
コロムビア三月新譜
陷したぞシンガポール　霧島昇　コロムビア合唱團
（片面）あなうれし
シンガポール晴の入城　伊藤久男　コロムビア合唱團
（片面）日本晴れだよ
大政翼賛會選定　戰ひ拔かう大東亞戰　霧島昇　二葉あき子
大政翼賛會制定　決戰生活訓　和田信賢
序曲の王樣スッペの名曲集！
詩人と農夫　序曲　ライヒワイン指揮　維納國立歌劇場管絃樂團
美しきガラテア　序曲　ライヒワイン指揮　維納國立歌劇場管絃樂團
輕騎兵　序曲　レーマン指揮　伯林國立歌劇場管絃樂團
その他數十枚全國一齊發賣！

ツヨイ　コドモハ
オクニノ　タカラ
伸びる盛りのお子達に、發育を助ける榮養素ビタミンを與へませう！
しつかりした骨格を作り齒を強くする理想的な榮養劑です。のみよく、少量で效果的です。
一日に一一二粒
五十粒…一圓廿錢
百廿粒…二圓廿錢
三百粒…四圓五十錢
ミツワ肝油ドロップス
東京　ミツワ石鹸本舗　丸見屋商店
M-38

擧島一心・長期戰完遂へ

日露戰役を想起し 眞の皇國民たれ

井上軍報道部長談話

大東亞の戰雲に陣營の春もでうち迎へたけふ三月十日、香港、馬來、比島、蘭印、濠洲と各戰線からもたらされる戰勝に相次いで、一昨日八日にはビルマの首都蘭貢また我が皇軍の鐵蹄下に屈伏した、その大いなる戰蹟の中にけふ巡り來た第三十七回陸軍記念日こそ、決戰する民一億がしかと胸の緒しめなほして更に奮起せねばならぬ"反省の日"である、「大東亞戰と國民と陸軍記念日」――敢々の意義ふかきけふ陸軍記念日に、我々國民の心構へを井上軍報道部長に語つて貰はう――

然し今年我々は一入深いこの日を迎へ民一億が嚴しく省みて見ねばならぬのは、三十七年前戰時の「國民」の姿である、今大東亞戰爭勃發以來僅々三ケ月餘にして、日に日に續いで皇軍に齎されて來るこの大戰果を、唯々無意識に無感激に謳歌する事は嚴に自省せねばならぬことである、皇國の大理念である八紘一宇が、既に明治の維新に始まり更に日露戰役で雄々しく具現され、そして今次大東亞戰がその延長として今南洋なる地域に大精神が次々と顯現されつつある秋、我々がただ目の前の現象を眺め戰果に醉ひ、そして何等の反省なき萬歳を叫ぶことは飛ら[illegible]へねばならぬことである、[illegible]、血涙、吞み、血を喰ひしばり、不屈不撓の決意を以て敵に突き進んで行つた當時の國民の姿を、私は心から叫びたい、ただひたむきな全國民の熱誠をもつて國民の一人一人がただ默々と勵んで行つたその眞摯な姿を、今こそ、しつかりと呼び戻し自分の姿に照らさねばならぬ、私は今夜六時半から「陸軍記念日を迎へて」と題してラジオ放送を行ふが、終始この事を強調するつもりでゐる、その當時の國民の熱情を承け繼いで昭和聖代の銃後國民が、眞に路一體、火と燃えるやうな意氣で突進し、その熱情を具現してこそ始めてこの大理想が顯現されるのである、戰勝の春に迎へたけふの日に、三思默考して今一度當時を回顧せねばならぬ、大東亞戰爭の根柢とも謂ひ得べき日露の戰役をそして當時の國民の熱烈なる國民の姿を想はねばならぬ、過去に於て喉、慨然と皆ひ醒らされて來た「皇國の特殊使命」といふことが今こそ克明に吾々の目の前に突きつけられたのだ、南進皇國の使命といひ志願兵制度、皇民奉公運動と謂ひみな大事な事ばかりだ、皇民六百萬が大躍進せねばならぬ餘地はまだまだある、各方面には未だ反省の要ある者少しとせぬ現狀下に於て、私は幾度でも一度言ふ意義深いけふの記念日を迎へて我々は當時を偲び、反省から反省を繰返し、そして眞の皇國民としての生命に生きねばならぬと

（寫眞は井上軍報道部長）

ボルネオ作戰從軍記

密林と惡闘二十日

飢餓、泥濘を見事征服

【蘭領ボルネオ、サンゴウにて染浦本社特派員發】今次大東亞戰爭に於て最南端尖兵部隊として重大使命を負ひた○○、○の兩部隊は去る十二月十六日未明突如英領ボルネオ、ミリ海岸一帶に折から十數米の强風をついて敵前上陸を敢行、一擧に油田地方及び飛行場の占領に成功せしを緒戰として、今やボルネオ全島の要衝の敵の重要基地を悉く席捲し世界の寶庫ボルネオは大東亞共榮圏確立の曙光を浴びてデヴユウして來たのである、ボルネオは雨林熱帶中の寶庫にして殊に石油、ゴムの年產額は世界の大半を占め之あるが故に叫び得た彼等の長期戰爭も今やむしろ我が方の望むところとなつたのである、而して同島攻略に於て赤道直下の炎暑とたたかひ、敵機跳梁下に、又敵潛水艦の攻撃を受けて尚よく最前線部隊として寧も休ひるまず、先づクチン飛行場に銃砲を上げるや息をもつかず敗敵を追つて密林地帶に進擊、折からのボルネオ名物の雨期の惱みを越え、椰子の實、バナナの實をかぢり百里の泥濘と山嶮を連日泥鰌の如く這ひ上り二十日間に餘る大苦闘にうちかち、ついに敵の作戰基地レド飛行場を占領、任務を全うした我が○○部隊の武勲こそは永久に大東亞戰爭史の一頁を燦然として飾るものである

サンゴウ殲滅戰

クチン上陸

昭和十六年十二月二十三日午後十時クチン攻略の我が輸送船團は南ナツナ島南方にさしかかつた時、突然敵潛水艦の攻擊を受け波高き暗黑の海に我が輸送船團の船の中には[illegible]被害を受け沈し去る悲壯な[illegible]を[illegible]する[illegible]に至つたが沈着な○○部隊は直ちに舟艇を下し、遭難船の救助に向はせると同時に本船を[illegible]潛水艦の行動範圍外に進入させ、救助の任務を終へるや舟艇を大[illegible]に進發させ自ら陣頭に立ち兵を[illegible]、黎明のサンドボングの岸を左にサラワーク河を遡行先づパンクに於て敵の十二サンチ砲二門と砲火を交へた、この時先頭の岡崎少尉以下三名は壯烈な戰死を遂げたが、かくしてロウレイに上陸した部隊は雨中の密林中をわけて進擊、王宮並びに發電所を占領、多數の捕虜を得たが、直ちに兵船を利して對岸クチン市に至り在留日本人を敵の監禁から救出した、我かとばかり涙を流して喜ぶ邦人達が泥にまみれた兵隊の手を取つて感謝をのべる有様はたとへ[illegible]感激の一場面であつた、同今が今まで支那人監獄の立場にあつた敢慨なるサラワーク國務理以下英人達は彼等自らが張りめぐらした鐵條網の中に監禁され救助された支那人達が兵に協力して之を監視する事になり世界近代戰の最初の一幕はここに明朗に展開された

岡崎少尉戰死

ロウレイ上陸に際しおしくも敵砲彈を受け壯烈な戰死を遂げた岡崎少尉（福岡市出身）は柔道五段、[illegible]柔道部主將として其の勇名は全國に轟き當時各校選手は敵陣の岡崎をいかにして打ち取るかと云ふよりはいかにして引分けるかに苦心したと云ふ位で、同校卒業後は大日本製糖に入社[illegible]に就職してゐたもので、會社船中記者とも同室、互ひに[illegible]共を語り合つた事もあり溫厚な同少尉はクチン河遡航には先陣を承り敵の砲擊を受けるや勇敢にも乘艇を敵砲壘の直前に突入させまさに白刃を閃かし陸上におどり上らんとした瞬間敵の至近距離砲擊の彈を受け壯烈な戰死を遂げたものであるが之によつて貴重な突破路は開かれ一擧にしてクチン市は占領されたのであつた

密林を越え 蘭領へ進擊

クチン攻略を終へた我が○○部隊は[illegible]

ボルネオ戰線畫報

①百里の山嶮を克服した久宮、小山田の重火器部隊　②兩岸の木を倒しては河を渡り前進する　③セゴンダ河を敵前渡涉　④鹵獲した敵の軍用トラックで續々サンゴウに進擊する○○部隊

染浦本社特派員撮影

雨期の爲め川の様になつた山路を難行する○○部隊

染浦本社特派員撮影

は既に紙を奪じてワニのゐるサラワク河を遡航、折からの雨期の惡路と山嶮を克服深く國境を越え蘭領ボルネオに進擊したのであるが途中大小無數の奔流は豪雨のため大泥濘を呈し敵彈の中に木を倒し筏を結び苦心の架橋も一夜の中に流失、部隊の進擊を阻まれる事數度ならず、泥濘膝を沒する惡路を重き裝具を背負つた將兵は幾度か山をすべり谷に落ち全身泥にまみれて終日苦難を續けては晩遅くの部落に雨露をしのぎ難行を續けたのであつたが、遂にシリアス河に到達せし中に近年になき豪雨に會ひ進むに進まれず、さがるにさがれずピーザン、パバン間の密林に大部隊は雨の露營を續けねばならなかつたが、後方よりの決死の糧秣輸送も谷川の氾濫並に惡路と苦力の逃亡に度々輸送路に絶たれ途[illegible]ただ見渡す限り海の如く氾濫した谷川の水に腹を滿たし、木の根をかぢり食糧も食ひ盡し木の芽、木の根[illegible]シリアス河の急流を前にして進退渡河に腐心するのであつたが、この狀況下に後方よりはしきりに强行渡河の命來り將兵はただ天を恨みくやしさの餘り齒を喰ひしばるのであつたが、殊に當初より最先鋒を承り全部隊の責任をになつた○○部隊は傳達されるこの强行渡河の命に今はただ一歩たりとも進んで死れるのみと部隊長始め各部の將兵は渡河點探索に密林中を踏破し早朝出發しては夜半歸ると如く疲勞してかへる有様は非常な惱みであつた、かくして連日の苦難の中に將兵間に皮膚病續出し泥と雨との中に木の根をかぢつてゐるとの有様はさながら此の世の生地獄ものがあつた

とも思はれたが、ついに天は吾が心を汲みてかさしもに猛威をふるつた豪雨も漸次おとろへ青空さへ見えるに至つたが、この時今將兵は空を仰いでただうれし泣きに泣いたのであつた、高山地帶の洪水は減水も早く一夜明けるごとに昨日迄水に沒した丘は頭を現はし附近の木の根も半ば姿を表はすと云ふ狀態に勇躍した勇士達は未だ引きやらぬ濁水をザブザブと渡り谷を行き山を越えピーザン下流約八粁の地點に於て折よく上流より流れて來た搭小舟を得て決死の兵援助の下に始めて渡河は開始されたのであつたがピーザンからこの渡河點に到る迂迴路こそは實に惡路中の難路にしてこの難路を僅か力數日よく突破した久宮、小山田兩部隊勇士の意氣は將に天をつく

迂廻進擊三十時間

背後に迫り一擧殲滅

大包圍作戰

パリンの要塞にしばしまどろむ間もなく、翌二十六日未明部隊は出發、いよいよサンゴウの敵を包圍すべく遠く迂回して敵の背後に出んと部隊主力は國境地より直ちに東方密林中に草を分けて入つたこの進擊こそは明二十七日午前十時迄一休一睡もせず、道なき密林を掻分けて三十時間にわたる人知のすべてを盡した猛進擊であつたが、敵もサンゴウにて一戰を交へんと豪語してゐたたけに密林中に兵を配置して草が動き、木がゆれさへすれば猛射を浴せ來り、其の進擊には一通りの困難ではなかつたが、我が部隊は道路をさけては迂迴に迂迴を重ね、セゴンダ附近にては敵の豫期する渡河點に出ですず勇敢にも鰐の住むと云ふ下流を泳ぎ渡り、敵の意表に出でて敵を狼狽せしめたが、夜ともなれば折惡しく月はなく、行手は一寸先も判らず、さしもの我が部隊もついに行方をはばまれたる如くに見えたが、しばし進むうち不思議にもこの密山には夜目にプラチナの如く冷く光る木の葉の如きものが散在してゐるのであつた、兵達はそれを拾つては前の兵の背中につけ、これを眼じるしにして前進を續けた、暗に光る落ち葉の如き不思議なものは夜光茸の密集した朽木の破片の散在したものの如く、深林中の所々にはこの密集した大木が墓の如き暗の中に水晶の錯の如く光り、怪鳥鳴くこの水晶の密林を分けてひしひしと進む大部隊の姿こそはまさに南進日本の力を表はす名畫であつた

ラングーン市中心市街の俯瞰

サンゴウ殲滅戰

かくして迂廻又迂廻、一睡も取らず未明迄に完全に敵の背後に廻りこれに呼應して敵正面部隊によつて猛攻が開始され、○○砲、機銃の音が未明の靜寂を破つて殷々とひびき渡つたが、この時前方より攻擊された敵の一部はすでに後退を始めたものの如く、トラックを連ねて本道上を飛行場方面へ疾走し來つたが、木の蔭に潛伏して待伏せた近藤部隊は一齊に猛射を浴せ、白刃を閃かして突擊し、トラックもろ共之を捕獲し、之に兵を收容してサンゴウに突進した、途中の橋梁は危うく爆破をまぬかれ、百キロ位の爆藥が仕かけてあつたに、山間、二箇づつおかれてあつたが、敵は此の前後よりの挾擊に全く狼狽し、敵の裝甲自動車平は路を失ひ、必死の射擊を浴せて來、彼我入亂れてここに猛烈な肉彈戰は開始され、路上に水逸に頑死を遂げた敵の死体は累々と横たわり、逃げまどふ敵を追ふ我が歩兵は山間にこだまする銃聲と呼應し、遂後を逐ひついに執拗に我を惱ました敵も全く殲滅され、一方別動隊はこの時すでにレド飛行場を奪取し[illegible]の運籌であつた、この作戰も莫大な戰果を上げて大團圓を告げたのであつた

永田伍長戰死

サンゴウ突入戰で、永田三郎伍長（福岡市出身）は肉薄攻擊班長として疾走し來る敵自動車に攻擊用の地雷を持つて飛鳥の如く飛び付かんとせしが、惜しくも敵車直前で壯烈な戰死を遂げた

内田上等兵武勇談

内田國雄上等兵（福岡縣出身）はサンゴウ突入後直ちに路傍に敵の遺棄した軍用トラックを運轉せんと運轉臺に入つたとき、突然傍らの草叢からオランダの軍曹が自動小銃を浴せて來たが、幸運にも命中せず、記者が銃聲にふり向いた時はすでに敵兵と猛烈な格鬪になり、つひに内田上等兵の力まさり彼はがばとはね起きると敵の小銃を逆に持つて一擊のもとに腦天を喰はしてしまつた、敵は内田上等兵の小柄なのに組し易しと思つたらしいが、實は彼は柄こそ小さくないが腕力にかけては部隊で有名な男であり、小國日本をあなどりし外國のうぬぼれにも似たサンゴウ包圍戰の壯絶を飾る明朗活劇譚であつた

皇軍奮戰の跡を偲ぶ

大東亞戰爭戰利品展覽

けふ臺北公會堂で一般に公開

香港、比島、馬來から皇軍將兵の敢闘の跡を物語る前線の香生々しい種々の戰利品がどつさり軍司令部に着いたのを機會に、皇民奉公會の主要なる市支會では臺灣軍報道部と總督府情報課の後援により臺北市を皮切りに主要なる市に於て大東亞戰爭戰利品展覽會を大々的に開催される事になつた各會場に飾られる戰利品は前記の如く前線から[illegible]した兵器、器材、彈丸、[illegible]等[illegible]の戰況を手にとるやうに[illegible]（何れも未發表のものばかり）二百[illegible]の外[illegible]地で皇軍が用ゐてゐる、被服、[illegible]や航空隊の[illegible]等も加へられてゐるので[illegible]の際には相當の人氣を呼ぶものと豫想されて、[illegible]に[illegible]けて今日から十日間臺北市公會堂で開かれる皇民奉公會臺北市支會主催の大東亞戰爭戰利品展覽會は會場が丁度[illegible]で特に[illegible]の協力を得て會場の一部に[illegible]、[illegible]、[illegible]の[illegible]をする[illegible]の申込所もあつて申込を受ける事になつてゐる

出品は左記の通りである

（臺灣軍報道部出品）

武器 [illegible]

器材 無電信機一、送信機一、現字機一、無線器具一

彈藥 小銃實包五、同空包五、自動短銃實包一、拳銃實包一、小銃擲彈一、信管二、照明彈一〇〇、信管一、手榴彈一、追擊砲彈一、戰車砲徹甲彈一、戰甲彈一、山砲榴彈二、同榴散彈二、野砲榴彈一、同榴霰彈一、高射砲尖鋭彈、榴彈砲藥包一、擲彈筒彈一、同藥包一、ガス手投彈一、發煙筒一、戰車用地雷一

（陸軍倉庫被服）

[illegible]

陸軍倉庫（糧秣） [illegible]

比島攻略戰に於ける戰利品

[illegible]

香港攻略戰に於ける戰利品

[illegible]

兵器 「リーインフイルド」小銃一、「ロスイン フイルド」小銃一、「ブレイン」輕機關銃一、[illegible]

被服類 [illegible]

寫眞資料 [illegible]

油繪 [illegible]

新時代の胃腸劑

アイオミン錠

アイオミン錠中の二十數種强力消化酵素はビタミンD・Bの併配により未だ類例を見ざる消化力を發揮し而も添加せる乳酸菌化菌との協力により著しき胃腸機能を振起して

消化不良
常習便秘
食慾不振
下痢
胃酸過多

を根本的に治療せしむ

價 二五〇錠 二、〇〇 七五〇錠 五、五〇

[illegible]

[illegible]

ゴムのエキス

ゴム レザー・ズック類 專門接合劑

全國百貨店特約店にあり

ゴム靴、ズック運動靴、地下足袋、自轉車のチューブ、ホース等の修理補强に最適品

特約店募集

見本 送料共六十錢 [illegible]

東邦商會營業部

尼崎市杭瀬神田一　電尼崎1413番

但シ阪神本線杭瀬驛前　振替大阪73176

NISSEN

「日染」ポレオン錠

☆治療の要諦 [illegible]

☆ポレオン「日染」 ポレオン「日染」は二種ズルホンアミド劑の綜合[illegible]に依り下記諸疾患に對し的確に奏効するのが特徴であります。

【適應症】 化膿症 婦人科疾患 中耳炎 丹毒 扁桃腺炎 急・慢性淋疾 其他あらゆる化膿性疾患

[illegible]

製造發賣元 日本染料製藥株式會社 大阪市此花區春日出町

一手販賣元 株式會社 福田商店 大阪市東區道修町二丁目

懸命の努力と研究が酬ひられました

眞に皆様の御期待に添ふ、酵母應用の丹頂クリームが完成いたしました、必ず御滿足を頂ける事を確信いたします。

（丹頂チツク販賣店にあります）

胃腸に

ビタミンV・B₁含有量一錠中〇・五ミリグラム

V・B₁の不足は胃及び腸の活動低下を來し、各筋肉の無力狀態を起し、食慾不振、便秘の原因となる。か樣な場合高單位のビタミンB₁劑「强力メタボリン錠」の服用は……根本的に胃腸の組織を賦活して筋肉の緊張を調整し、消化液の分泌を恢復し、消化液の分泌を旺盛ならしめ、榮養素の吸收を促進し以て疾病の治癒を容易ならしむ。

胃腸無力症 食慾不振 肺結核・肋膜炎等の消耗性疾患等

一〇〇錠 三〇〇錠

强力メタボリン錠

武田長兵衛商店

仁丹で腹を整へ消化を進め なんでも美味く すべてを榮養化

斯くして粗食も榮養！

消化と毒けし 仁丹

朝夕食後に欠かせぬ増健藥

胃弱に 食傷に 腹痛に

小兒良藥

宇津救命丸

カンの強い子に

持藥にお與へ下さい。カンも鎭まり安眠でき、元氣に丈夫に、肥つて行きます。

[illegible]

ライオン齒磨

大切な齒ですから

齒質を傷めぬ質の良いライオン齒磨で磨きませう。

共榮圈の獨立國へ
緬甸再生の黎明
英の侵略搾取に終止符

遂に東亞の天地

大東亞戰爭勃發以來三ケ月餘、今や昭南島には燦爛の日章旗が打ち樹てられ、蘭印、ジャバ島の運命も、餘すところは最早時間の問題となつた

かかる情勢に呼應するが如く、皇軍の精鋭はビルマ戰線においてもまた、破竹の進擊を續け、既にサルウイン河を渡河、更にシッタン河を渡り、八日には遂に蘭貢完全攻略成つた

この皇軍のビルマ進擊の前に、かつては英國の寶庫印度の前衛基地として英帝國防衛の第一線たりしビルマは、逆に印度に對する匕首として突き付けられることとなつた、印度の喪失が同時に英國の崩潰を意味することは英國人自身が良く知つてゐる、今日迄の英國の繁榮の一半は、全く英國の印度領有のお蔭であると言つても過言ではなく、英國は、印度を保全するためにはあらゆる策動をも辭せないのであつた、英國がかくも印度を重視するに當つて、ビルマが印度防衛の第一線として重視せられるのも亦、當然であつた

英國がビルマに侵略の第一歩を踏み出してから一二〇年、彼等はビルマの統治に全力を傾けその植民政策の全知識をすぐつて、ビルマの統治と搾取に努めてきたのであつた、しかし所詮はビルマは東亞の天地である、如何に英國のビルマ統治が巧妙な搾取政策をとつたとは言へ、ビルマ人を瞞着しおほせることは出來なかつたのである

英國のビルマ侵略

英國がビルマに侵略の第一歩を踏出したのは、一九二四年の第一次ビルマ戰爭に始まる、當時アラカンベーヤ王朝の支配下にあつたビルマは次第に國内統一を計り、特にバギドウ王が立つに及んで國力は充實し、タイに、印度に、盛んに外征の軍を起すに至つた

しかし王の印度侵入は、當時印度經營に專念し始めた英國の野心と衝突せざるを得なかつた、更にても貪欲な領土侵略の野心を有した英國にとつて、このビルマの印度侵入は恰好の口實となつた、かくて一九二四年ビルマのブツサム地方侵入を契機に、第一次ビルマ戰爭の火蓋は切られたのである、しかし國力充實せりとは言へ、ビルマが近代的裝備を有する英軍に敵すべくもなかつた戰ひは簡單にビルマの敗北に終り、ビルマはアラカン、テナセリム地方の割讓、ビルマ政府に英國の辨務官の駐在を承認すること等を條件として屈服を餘儀なくさせられた

しかも英國のビルマに對する欲望がこれで止るとは考へられなかつた、ビルマ政府に辨務官を駐在せしむることは、明らかに次の侵略の準備工作であつたのである、英國は着々とビルマにおける地盤を固めて行つた、しかもビルマの國内にあつては、依然として封建的な制度が多くの弊害を生み出し、英國をして絶好の侵略口實を與へてゐたのである、やがて機は熟した、一八五二年英國はビルマ國民の英居留民排斥を口實に兵を進め第二次ビルマ戰爭を開始した、しかし今度もビルマは英國の敵ではなかつた、この戰爭の結果、ビルマに課せられた條件はペグー地方の割讓であつたのである

ビルマ英領となる

かくて英國は、ビルマの最も豐かな地域の大部分を手に入れてしまつた、英國のビルマに於ける勢力は動かすべからざるものとなつた、もはや英國にとつてビルマは生かすも殺すも自由となつてしまつた

かかるビルマの情勢に最後の終止符を打つたのは一八八五年の第三次ビルマ戰爭である、第二次ビルマ戰爭後のビルマにあつて、英國の横暴に心を惱まし、ビルマ人のビルマの再建を目ざす先覺者達の運動は次第に芽を出して來た、しかし之等の愛國の人々の運動も當時のビルマ大衆には間違つてしか理解せられなかつた、本來正しき國威恢復運動も結果においては不純な暴動騒ぎに終つたのである

巧猾な英國にとつて、かかるビルマの内亂は恰好の侵略口實であつた、一八八五年、ビルマの反英、國内爭亂を口實として三度英國はラングーンに兵を差向けたのであつた、三週間の戰爭の後、ビルマの運命は定つてしまつた、王朝は廢せられ、ビルマ最後の王セバワ王はラングーンから印度内の配所に送られ名實共にビルマは英國の領土となつてしまつたのである

英の搾取始まる

英國の傘下におさめられて以後のビルマの歴史は、英國のビルマ搾取の歴史に盡きてゐる

英國がビルマを統治するに當つて、先づ最初に採つた政策は、ビルマを印度の一州として統治することであつた、印度を重視し、印度を彼等の寶庫と考へた英國にとつて、かかる政策は當然であつたとも言へよう、しかし地域的にも人種的にも印度とビルマとは全く別個のものである事實を考へれば英國がビルマを印度に編入したことの不合理は言ふをまたない、しかも英國にとつてはビルマ人の利害は問題外であつた、彼等の欲する所は如何にして印度を、或はビルマを搾取するかにあつたのである、傳統的な英國の本國本位の植民政策は、この印度、ビルマの合併問題にも端的に表明せられてゐる、ビルマは總てをあげて印度に奉仕することを餘儀なくせられ、ビルマの問題はすべて印度の利益を第一として決定せられることとなつたのである

英國がビルマを搾取するに當つて、彼等に不利益と考へられたビルマ人の生活水準の高さは、印度人苦力を移民せしむることによつて破壞せられた、一日三十錢で生活しうる印度人苦力は、英國にとつて絶好の勞働力を提供したに相違ない、しかもビルマ人の今迄の生活、殊にビルマの生活は、この印度人移民によつて一朝にして覆へされたのである、そして英國にとつてはかかる無道な政策も朝飯前のことであつた

老猾な以夷制夷

印度人勞働者の移民に引續き、やがて印度人チヤテイヤ（金貸）も陸續とビルマに移住して來た、今迄豐かな土地に豐かに生活してゐたビルマ人が、此等印度人に太刀打出來よう筈はない、ビルマの土地はビルマ人のものでありながら、その富源は殆ど印度人の手中に歸してしまつたのである、九百五十萬人のビルマ人に對して、僅か百萬人の印度人が、一切のビルマの經濟を動かすこととなつた、土地の四八パーセントは印度人の所有に歸し商業の七一パーセント、金利生活者の四六パーセント等々すべての分野に印度人の勢力の及ばないものはなくなつてしまつた

しかも英國にとつては、如何にビルマから搾取するかだけが問題であつた、印度人が移民しようとビルマ人が困らうと、一向に英國の關知することではなかつたのである、更に巧妙な英國の政策は、本來この英國の植民政策に對して向けらるべきビルマ人の不滿を印度人自體に向けさせることによつて統治をつづけて來たのである、大部分のビルマ人は自分達の生活の脅威として迫つてくる印度人の問題には反感を感じてゐる、しかも英國の愚民政策によつて無學蒙昧の狀態に置かれてゐるビルマ人が、英國の老猾な異民族操縱による統治政策に、正確な認識を有するとは考へられない、英國はかかるビルマの狀態を利用し、自分一人は良い位置を占めてビルマの統治を行つて來たのであつた

しかしこの不合理な狀態が何時迄も續くことは許されない、前大戰前後の時代より、ビルマ人の中にも、ビルマの印度よりの分離が次第に高唱せらるるに到つたのである、如何に巧妙とは言へ不合理な政策は結局は破綻を生ずる、民族自決機運が全世界を風靡すると共に、ビルマの國民運動は印度人排斥、印度よりの分離から、更に完全自治へと向つたのである

このビルマ人の運動に驚いた英國は、一九三五年ビルマを印度より分離し、ビルマ自治を創設し、ビルマ人の反抗を柔げんとした、しかも老猾な英國はこの分離に當つても形式的にビルマを印度より離すことには同意したけれども、實質的な經濟上の問題、或はビルマに於ける印度人移民の問題には何等手を觸れてゐない、名目的にビルマ人のビルマを作ることには同意しても、内容は依然として印度人とビルマ人の相剋を彼等の利益のために留保してゐたのである

勿論ビルマ人の國民性の中にも經濟觀念の缺如、虛榮心、怠惰心等の弱點が存在するし、一方印度人がビルマ人の足らざる所を補ひ正當にビルマ國内にあつて活動することは認められねばならぬ、しかし人口比率からしても、又歴史からしても、ビルマはあくまでビルマ人のビルマでなければならない、今日の如く英國の老猾な植民政策にあやつられて不當に印度人とビルマ人との軋轢がまき起されてゐる狀態は何とかして改善せねばならない

指導者日本の責務

ビルマの全貿易額の五〇パーセント前後のものは對印貿易によつて占められ、石油の全輸出額は印度向に當てゐる、このビルマに對する英當局の政策は大東亞戰前まで續いてゐた

英國の統治下にあつては、ビルマは所詮に印度の門番の位置しか與へられないであらうし、又ビルマを東亞人のビルマとして開發する政策は採られないのである、今迄の英國のビルマ統治は、徹頭徹尾ビルマの印度への奉仕とビルマ自體の搾取に終始したのである

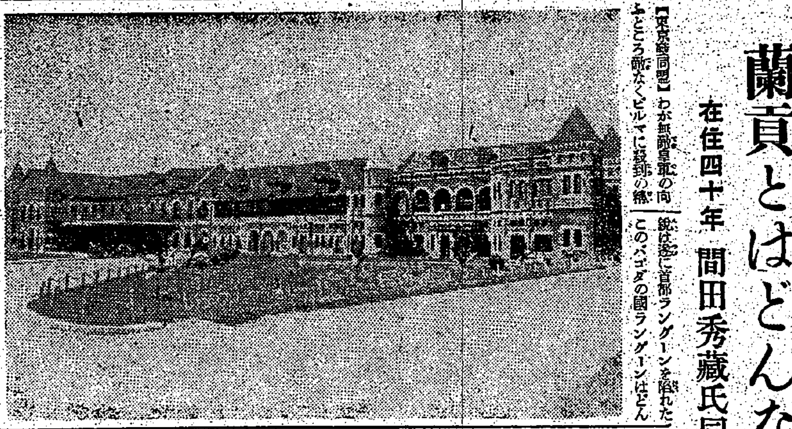
しかし今や皇軍はビルマ方面作戰の主目的を達成するに至つた、英國の勢力がビルマの天地より退却する日も遠いことではなくなつた、一月二十一日の東條首相の議會演説に示されたごとく、やがてビルマも大東亞共榮圈内の獨立國として再生するであらう

しかもこの場合にあつても、東亞の盟主たるべき日本は、ビルマの印度人問題の現實を忘れてはならない、今迄英國の統治政策によつて殘されて來たビルマの現實を直視し、印度人、ビルマ人をして共にその所を得さしめることこそ我々日本の責務である

そして現在の英國の統治下にあつては、一見全く救ふべからざるが如き様相を示してゐる印度人對ビルマ人の問題も、我國の指導の下に東亞人たるの自覺と矜持をもつならば、その解決も決して不可能ではないのである

蘭貢とはどんな處か
在住四十年 間田秀藏氏同地を語る

【東京發同盟】わが無敵皇軍の向ふところ敵なくビルマに殺到の猛鋭は遂に首都ラングーンを陷れた、このパゴダの國ラングーンはどんなところか昨年歸國するまで四十年間同地にあつて營々として貿易商を營んでゐた東京市牛込に住む間田秀藏氏に神秘の都ラングーンの現狀を聞く


ラングーン停車場

佛教の國パゴダが國中到るところにあつて僧侶がどこの街頭にも目の醒めるやうな黃衣を着て托鉢してゐるビルマ・この首府ラングーンはイラワヂ河から約二十哩の上流にあつて**政治**交通の重要地です、人口約四十萬その内約十五萬は印度人で次ぎに支那人、ビルマ人の順序です、ビルマ人はなかなか日本に好意を寄せてゐます、白人種支那人など世界各國の人種が集まりさながら人種の展覽會といつたところ英領としてはボンベイ、カルカツタに次ぐ開港場であり河岸には税關倉庫が立ち並んでゐます、ここはまたビルマルートの起點で河岸に南面して埠頭が並び船から降す荷物は大抵雜貨類で船に積み込むのはラングーン米、麻、綿といつたものでラングーンの入口に石油タンクがありますがこれはイナンテアから産出する原油を十五吋もあるパイプで二百五十哩の間を引いてゐるのです、一箇年産油額は百五十萬噸といはれてゐます、氣候は十一月から二月までが一番よく五月になると雨季になり

雨のただ涼しい風が吹くので暑いたかにも暮しよいところです、この町は一八五二年英國のフレーザ中尉が『首都にふさはしき町』として設計した新しい町です、佛教國の都市として底知れぬ神秘を持ちいかなる旅人の心をも把握するやうな不思議な魅力を持つてゐます、この町は港と中央、山の手の三地區に分られたいかにも軍人らしい整然たる建設味があり市中の交通機關は印度の手車の外馬車、人力車、自動車が多く電車も勿論通つてゐます、道路はアスフアルトの鋪裝道路が完備してをり道路の兩側には南國特有のアカシヤ街路樹が植えられてゐる商業街の十字路には黃色のスーレ・パゴダが聳へローヤル湖の西方の丘上には世界的

有名となつてゐるビルマ第一のシユウエ・ダゴン・パゴダが建つてゐて美しい點でもビルマ第一でせう、この附近一帶一大公園となつてをり塔の兩側正面入口にある白色の巨大な狛犬はビルマ名物の一つで東洋では一、二を競ふ大殿堂、熱帶特有の動物園、植物園もある象牙細工、金銀細工など名産も多いまたラングーン北方六哩の地點にミンガラドン飛行場がありここには英國人印度人からなる聯隊が置かれ兵隊も約五千人を收容してゐました

親日的なビルマ人
團結心、自尊心高く獨立の希望に燃ゆ
ラングーン陷落の報に 權田、宮田、船崎三氏語る

パゴダ（佛塔）の國ビルマの首都ラングーンは我が皇軍の猛攻に支へきれず八日遂に陷ちビルマ公路の基點たる使命も終つた、このラングーンに就いて嘗つて同地に在住したことのある華南銀行臺北本店支配人代理權田右馬治氏並に同行營業部次長宮田美僑氏と船崎健吉氏に訊けば交々次の樣に語つた

權田右馬治氏

ビルマの心臟部ラングーンの陷落は久しく待望してゐただけに全く慶賀にたへぬ次第だ、首都ラングーンは海からイラワヂ河を約三十六マイル遡航して位する都市で船から下りて先づ眼につくのは高さ一一三米、周圍二九六米のシユエ・ダゴン・パゴダだ、この佛塔の黃金に輝やく姿は實に美しい、その他パゴダはビルマの到る處にある、更に眼につくのは黃衣の僧侶と蛇だ、ラングーンは印度人が多く何んとなく印度の町と云ふ感じがする、華僑は米穀取引、精米所、雜貨商をやつてゐるが邦人の進出は戰前三百人位で**日本商社では**三井、正金銀行、三菱、日本棉花に邦人雜貨商として大きい千田商會もあつた、更に齒醫者、寫眞業の邦人があつた筈だ、パゴダの話に戻るがビルマ人はこのパゴダを跣で參拜する習慣があり、英米人と云へども跣でなくては參拜せぬと大に威張つてゐたのは愉快だつた、先年英の皇帝プリンス・オブ・ウエルスがパゴダ見物を行はんとして跣でなければ參觀まかりならぬとおどかされ中止したこともあつたラングーンの氣候は奥地に違ふが五月から十月まで雨期で日本本土の梅雨よりも激しい豪雨で寸時も

宮田美僑氏

降り止まぬ程で憂鬱だ、三月から四月に至つては乾燥期となり雨は一滴も降らずカラカラになつた街に風が吹きラングーンの町は砂塵萬丈と化して町は黃一色で住みにくい、然し衛生設備は良く傳染病は少ない、イラワヂ河の北岸は商業區、南岸は倉庫と製材所がある、製材所では象を利用して木材を運搬してゐるので面白い、ビルマ人の國民性は常に述べられてゐることであるが團結心が強く加へて自尊心が高く獨立の希望に燃えてゐる、また精悍な氣性があつて勇敢らしいが大體に貧困に狃まれ怠惰な者が多すぎるので經濟的能力を印度人並に支那人に牛耳られてゐるのは遺憾だ、小乘的佛教を信奉するので物慾がないのだらう、その點に政治問題には關心を抱いてゐる特にシヤン・ステートの土着人は日本人に瓜二つと云つて良い程似てゐる、ラングーンは**支那人の西進**最端地點であることは興味ある、茲から西への支那人の進展が少ないのだ、ビルマ人の教育は相當進んでゐて都市では小學校四年生程度の教育を受けた者が多い、一九三一年の人口調査では總人口一千四百六十六萬人でビルマ人九百九萬二千二百十四人、シャン族百三萬七千四百六人、支那人十九萬三千五百九十四人、印度人百一萬七千八百二十五人、歐、英、印混血人三萬四百四十一人で人口密度は一平方キロ平均五十人となつてゐる、ビルマの資源はラングーン米、石油、チーク、茶、棉花、鉛、錫、タングステン、ルビー、石炭であるがこれは周知の事だから詳しく語る必要もあるまい、我が經濟の進出は全く無い譯で支那人の發展も甚

船崎健吉氏

閩省と廣東省（西部）の移住者が多い、ビルマでは英國に壓迫されて六十餘年になるが今日英國の壓迫から解放され『ドバマ』（我等のビルマ）として起ちあがる日が訪れたのは喜ばしい次第だ、華南銀行も曾て世界大戰の末期日本が八八艦隊の計畫をした際、これに對する資金供給と斡旋をし先づ重要燃料としては油田をビルマに求め英國籍華僑の大立者で今は故人となつた林振宗（林振宗）に油田買收を交渉し續き工場建設に着手したが世界財界の反動で頓挫したことがあつたが、今から考へると殘念な話だ、何にしてもビルマ人は親日的である、日本と結び日滿のごとを熱望してゐるさうだから**占領後の工作**は着々と進められる事と信ずるが愉快なのはラングーン占領でビルマ公路の斷絶されたことだ、これには蔣介石も大恐慌をしてゐることだらう

興亞の先覺者・荒尾精（1）
憂國の至情に燃え 夙に支那雄飛熱願

山中樵

先生の苦學ぶり

荒尾先生の初の名は義行、後精と改め東方齋と號した、名古屋藩士荒尾義濟の長男で、安政六年今の名古屋西區花の木町にあつた藩の官舍で生れた、明治維新後、父は一家を擧げて東京に移り、麴町五丁目に小さい洗物屋を開いたが不慣れの商賣で失敗し困窮となり、先生は學校へも通はなかつたが、その間學問を怠らなかつた、而して明治六年先生十五歳の折、同町内に住んだ菅井誠美の知る處となつて、同家に引取られた

菅井は鹿兒島の出身で、[illegible]の警部を勤め、後[illegible]して知事にまでなつた人であるが臣節にして義を好み、能く青年の世話を爲し、この頃も既に書生二人を自宅に置いてあつた、荒尾先生は同家に寄寓し、菅井夫妻から我が子の如く育てられ、且つ指導され、先生も深くその恩義に感じ能く之に仕へると共に、勉學を勵んで大成を期したのであつた

菅井は[illegible]征韓論を議論した頃なので、恩人菅井の家などは、日夜同家書生士官等を寄せて盛に征韓論を議論した、新政府の要路の臣に、先生は支那の歷史を研究し、前途に亡國の形勢を憂ひて、將來兩國に對する意見を定めたいと決意し、又西洋に就ては佛蘭西の兵學を修めたいと希望するに至つた

やがて恩人菅井の好意により外國語學校に入つて、佛語を學び傍ら漢學を習ひ、又荒野實良に就て漢學を修むる等、寸陰を惜んで苦學し成功した學者なるものがあつた、明治十年の西南の役後、先生は漢學教授の或る陸軍教導團を選いて軍人となり、用兵の術を學ぶと共に、支那の國情を研究し、併せて速かに漢文の素養を得るを急務と考へ、恩人菅井の同意を得て、十一年陸軍教導團に入り砲兵科を修めたが、在學中[illegible]生徒の儀表と稱せられた、而して翌十二年卒業して陸軍軍曹に任ぜられ、大阪鎭臺に赴任して半小隊長に補せられたが、特に隊内の士氣振興に力を盡した

十三年先生は選ばれて陸軍士官學校に入り、步兵科を修めたが、同窓の生徒二十餘人と深く相結び士風振作の爲め斷然の氣を鼓吹するの任に當り全校生徒の畏敬する所となつた、十五年の夏朝鮮の京城で暴徒が我が公使館を襲擊した所謂京城の變が起つた時、先生は一生徒の身を以て、陸軍卿大山巖に面謁し憂國の熱血を注いで東亞の大策を獻し、自己の意見を具陳する等軍隊に自ら東亞の大局に任ぜんとするの意氣を示したのであつた

この年の冬、士官學校を卒業して陸軍少尉に任ぜられた、時に年二十三歳、平素先生は[illegible]までは兩親の扶養を專念してゐたにも拘はらず、不幸にして教導團卒業の年に父君を喪ひ母君も亦士官學校在學中に歿せられたのは遺憾であつたが、卒に任官した先生は最初に得た俸給を以て兩親の墓碑を建設し、以て報恩の誠を致したと云ふことである

支那渡航と漢口樂善堂

先生は東亞の時局日に非なるを

見て、徒らに傍觀することが出來ず、少尉任官後、直ちに官を辭して支那に渡らんと企圖したが、恩人菅井並に要路の先輩に懇諭されて暫く意を翻へしたのであつた、當時海外に志す者は擧げて歐洲を望んだ際、渡支希望を尋ねた先輩に答へた先生の言は、『敢て之を治めて東亞を興さんとするのみ』と云ふのであつたが、之に依り當時に於ける先生の抱負を窺知することが出來る

十六年の春、步兵第十三聯隊附に補せられ、熊本に赴任したが、職務に精進すると共に士卒を愛撫し、最も德義を尚び、士風の振作に勉めたので隊内官兵、將校の敬愛自ら兩方に向ひ、遂に全聯隊の美風を醸成し、その美名市内に聞え當時兒童が集まつて[illegible]ば、必ず荒尾少尉なりと云つたさうである、熊本鎭臺中清國留學生であつた御幡雅文が熊本鎭臺に奉職したのを機會に、先生は御幡に請うて官舍を共にし支那語の勉强をやつた

熊本生活二年の後、十八年には參謀本部附に轉じたが、先生は同所の書類を利用して益々支那事情の研究に力を注ぐと共に、一方東亞問題に關する同憂の士と深く相結ぶ機會をも得たのであつた

翌十九年の春、先生は命を受け始めて支那に渡航し、上海に行つたが、此處で岸田吟香に面會した、岸田も亦憂國の士で當時藥品、書籍、雜貨等を販賣する樂善堂を經營して居つたが、深く先生の抱負に傾倒し援助の取りを許し將來の後援を約した、斯くて先生は上海から漢口に赴き、此地に樂善堂支店を設け、岸田から藥品を送らせ自ら店主となつて支那官憲の注意を免れたが、その實志である支那を治め東亞を興さんとする大志は元より先生一人の力で能く果し得るところではないので、遂に天津、上海等に散在する有志に飛ばした處、井深彥三郎、高橋謙、宗方小太郎、山内嵓、石川伍一、[illegible]安太、松田滿雄、藤島武彦、中野二郎、浦敬一、山崎羔三郎等の志士相次いで漢口に集まつた、所謂漢口樂善堂の志士と云ふのは此等の人々である

先生は之等の志士と計り、先づ以て『世界人類の爲めに第一着手に支那を改造すること』と云ふ大原則を定めた、而してこの目的達成の準備として支那の國情を明かならしめるため、各地方の情況調査に從事することとなり同志に夫れ夫れ支那人に扮裝し觸ゆる困難を冒し幾多の危險を冒し、四百餘州足跡の及ばない所なき迄に探險の事業に邁進したのであつた、當時同志には十分なる旅費の用意もなかつたので、各自藥品、書籍等を攜帶し行く〳〵之を賣つて旅費を辨じ、或は賣卜者、醫師を裝ひ、辛うじて漢口の費を得、或は乞食となつて未知の地に入り込む等言語に若苦すべからざるものがあつた（未完）（寫眞は荒尾精氏）

疲勞恢復に　三共 SANKYO

オリザニン

本邦唯一の學士院賞に輝く
强力ビタミンB劑

オリザニンは疲勞の原因たる體内乳酸の生成を防止すると共に、過剩の乳酸を分解して疲勞の恢復と防止に顯著な效果あることは實驗諸家によつて實證せられてゐる。

（錠）50錠 ¥1.20　（末）30瓦 ¥1.30
◎地區を除く
（其他大型入及び液・エキス・注射液等）

東京・室町　三共株式會社
臺北市表町一丁目　臺灣三共株式會社

肺浸潤に
トクレイズ

肺結核
肋膜炎
肺尖カタル
肺門淋巴腺
腸結核
腹膜炎
カリエス
喉頭結核
胃腸結核
痔瘻・喘息
結核豫防に

浸潤增惡しつゝある結核病竈は本劑の直達療法效果により最も輕快なる吸收治癒を期待されます……學界の注目、本劑主要素の特性は病原菌の皮膜を滲透し菌體を萎滅せしむると伴に、阻害された全身各細胞を賦活し殊に神經系及食盡細胞の活性增強を來して抗病・治癒力を喚起します。從つて諸種の自他覺症は原因より消退され、レントゲン、赤沈檢査に於ても著しき治癒經過を示現します。

贈呈 文獻・解說書 ・新聞名記入 申込ノコト

東洋二百……五圓……十二圓

發賣元 明耕商會研究部 東京市京橋區木挽町七ノ

心臟や胸・胃

の弱りに芯から力づける麝香や熊膽等の動物精膽の藥效はホルモン學の發達につれて一層明かになりましたが、動物精膽の優れた點は、内臟への吸收同化が良く、動悸や息切れ、ね汗等を取つて芯から力強い健康體を作つて行くからです。

特種動物精膽藥
救心
一朝夕一粒

心臟の病で苦しむ人
肋膜や肺のよくない人
胃弱で食慾の進まぬ人
心臟弱く動悸息切の人
ね汗で夜分ね苦しい人

内服藥『救心』は此の麝香や熊膽、牛黃、眞珠其他數種の特種動物精膽を配伍した效目の良い小粒藥で病體を芯から力づけるので評判です。

「救心」は、一週分二圓、二週分三圓五十錢三週分五圓で藥店百貨店にあり
進呈「心臟の手當と養生」の本ハガキでお申込の方に進呈す
發賣元 東京市京橋區西八丁堀二丁目十一 救心本舖 電話京橋二〇一番・九〇四番

家庭の健康陣

家事に、勤めに勉學に、より能率を向上して決戰下國民の責務を果せるよう……先づ健康を確保して無病家庭の建設に邁進せねばならぬとき……

ハリバで護れ

子も親も、毎日の健康に一―二粒の〈ハリバ〉を運用され…皮膚や呼吸器粘膜の防壁を強めてかぜ引かね、病氣知らずの强力健康陣を建設しませう

ご家庭の常備藥として 三百粒入がお得用

東京市日本橋區本町 田邊商店

強い子は錠劑わかもと育ち

家庭に藥け必勝体制！

お腹をこはす、風邪をひく、食慾衰へ偏食する、發育が惡い――等の心配は わかもと育ちの子には有りません

筋骨發達し 血色が良く 疲れない！
同化性ビタミンB1・B2複合と三消化酵素の複合效果

錠わかもとのビタミンB1は吸收早く同化容易です。又B2（發育素）が強力な上にカルシウムや蛋白質も豊富で殊に三消化酵素も多量に含まれてゐますから、常用すれば胃腸障碍が原因的に恢復し何でも喜んで食べ榮養が綜合的に充實しますから發育は上乘です。

一日… 三百錠 一圓六十錢
乳兒には粉末

胃腸 榮養 發育 WAKAMOTO

わかもと本舖 東京・大阪・京城・臺北・天津・奉天

臺灣日日新報
本日夕刊共八頁

畏し勅語を賜る
東印度諸島 赫々戰捷を御嘉尚

【東京發同盟】大本營發表（三月十日午後三時五十分）大元帥陛下には本日陸海軍幕僚長を召させられ南方軍總司令官並に聯合艦隊司令長官に對し左の勅語を賜りたり

勅語

東印度諸島方面ニ作戰セル陸海軍部隊ハ緊密適切ナル協同ノ下ニ長途幾多ノ困難ヲ克服シテ勇戰奮鬪克ク敵航空兵力及艦隊ヲ撃滅スルト共ニ諸方面ニ至難ナル上陸作戰ヲ斷行シ隨所ニ勁敵ヲ破摧シテ神速果敢悉ク其主要根據地ヲ覆滅シ以テ敵勢力ヲ一掃セリ

朕深ク之ヲ嘉尚ス

戰勝報告へ議會再開
東條首相、方途を闡明
蘭貢攻略蘭印降伏機に

【東京發同盟】東條首相は去る二月十六日シンガポール陥落[illegible]の議會演說に於て[illegible]の大精神に基く[illegible]を闡明[illegible]民族及び各國家に對して呼びかけて以來僅々二旬餘にして皇軍はビルマ人の歡呼裡にラングーンを完全占領、インドネシヤ民族の熱狂的歡迎の裡に全蘭印を降服せしめここに政府は來る十二日再び議會を開催、さきに全世界に公約した[illegible]天の偉業を說明することとなつた、同一議會の會期中然も議會の日數幾何もない休會中に二度も戰勝報告のため議會を再開するといふこの光榮は帝國躍進を物語る帝國議會史上はじめての記錄すべき記錄で、これを首相が議會に於て口を開けば[illegible]明に終始してゐる米英のそれと比較する時正義の大旆の下に邁進する新興國家と末期[illegible]國家の隆替を如實に物語つてゐる、東條首相は去月十六日貴衆兩院における國策闡明中に

オランダ軍はこれを徹底的に驅逐、インドネシヤ民族にしてわが方の眞意を諒解協力し來るにおいてはその希望と傳統とを尊重しその地域をインドネシヤ民族の安住の地たらしめんと述べたが蘭印軍は既に降服し今や待つものはインドネシヤ民族の心底よりの[illegible]協力のみとなつたが、これとても皇軍のジャバ作戰への住民の協力振りは少くもこの點を端的に示したものと言へる、殘るは印度豪洲ニュージーランド軍であるが、東條首相は「印度は英の暴虐なる[illegible]下より脱出し大東亞共榮圏建設に參加すべき絶好の秋だ、若しこの時逡巡せんか、印度民族再興の機會を失ふべきを愛へる」と言ひ、豪洲、ニュージーランドには「米英の援助を期待した無益の戰爭を避くべきだ」と呼びかけてゐる、果して彼等は如何に聽へるか、ビルマルート遮斷の日は遂に來り重慶政權は孤立無援となり國際決戰場からとり殘されてしまつた、帝國はその頑迷に最後の鐵槌を加へるであらうが[illegible]國策闡明以來短時日に大東亞の形勢は一變した、この間に處する帝國の態度は大東亞民族は勿論敵國も耳を聳てつゝ聞きたいところ、この意味で十二日の議場において行はれる東條首相の發言は極めて重大な意義をもつこととならう

擧國體制を愈よ强化

【東京發同盟】大東亞戰爭における帝國の雄大なる作戰は去る二月十五日のシンガポール陥落によつて一段階を劃したが、更に陸海軍の作戰は大東亞の全域に亙つて[illegible]ビルマを[illegible]すると共に蘭印を全面的に降伏せしむるにいたつた、赫々たる戰果は一億國民の感激を新たにし國民の士氣はいよいよ昂揚されつつあるが、政府はこの機會に議會を通じて今後の方策を明かにすると共に擧國一致體制をますます强化し戰爭完遂に邁進すべき決意を披瀝し國民の協力を促すため十二日貴衆兩院本會議を開催することに決定した、よつて貴衆兩院とも政府の要請に呼應して直ちにこれが準備に着手し衆議院は十日午後各派交渉會を開き當日の議事日程を決定したが、貴族院においても十一日午前中に各派交渉會を開き同日の議事日程を決定するはずである、しかして貴衆兩院とも[illegible]の戰況報告に對し[illegible]決議案を上程全會一致を以て可決し[illegible]ることになつてゐるが當日は兩院とも[illegible]のみを行つて散會三度目の自然休會に入るはずである

金鵄勳章二百廿八名
支那事變生存者第三十六回論功行賞

【東京發同盟】畏き邊りでは十一日支那事變生存者第三十六回（陸軍關係第三十回）の論功行賞の御沙汰あらせられ同日午前零時陸軍省並びに内閣賞勳局より發表された、今回行賞の光榮に輝く勇士は支那における陸軍病院、鐵道の指揮機關關係部隊、兵站自動車部隊、船舶輸送關係部隊の四部隊、蒙疆または滿洲の警備に任じたる皇軍部隊各軍司令部、[illegible]に屬する軍人及び軍屬と既に發表せられたる部隊に屬する將官（佐官で奏功し其の後將官に進級したるものを含む）とでその内金鵄勳章を授賜せられたものは[illegible]少將以下二百二十八名である、また功績拔群にして殊勳甲の御沙汰を拜したものは中支戰線に[illegible]實に四年最近では長沙作戰に奮戰力鬪赫々の武勳を輝かし功三[illegible]を賜はつた[illegible]部長[illegible]氏（當時大佐）など四名である、なほ今回の行賞中には[illegible]と共に○○[illegible]を擧る約三個年間中支那第一線に活躍赫々たる武勳を建てて歸還した千田貞次郎少將（現石川縣聯隊區司令官）或ひは[illegible]つた現華北[illegible]第三[illegible]長たる[illegible]大佐などがその名を連ねてゐる（本島關係者なし）

ジャバ作戰を慶祝
杉山參謀總長
東條陸相祝電

【東京發同盟】ジャバ作戰の神速なる戰果に鑑み杉山參謀總長及び東條陸軍大臣は十日寺内南方方面最高指揮官、今村蘭印方面陸軍最高指揮官及び蘭印方面航空部隊指揮官宛左の祝電を發した

一擧深く敵陣地の核心に突入して敵の心膽を奪ひ上陸一週間にしてジャバ島の全敵を瓦解し蘭英米濠聯合軍の一大牙城を粉碎して第三十七回陸軍記念日を迎へ感激特に深し、ますます[illegible]

東條首相祝電

【東京發同盟】十日東條總理大臣より寺内南方方面陸軍最高指揮官並びに飯田[illegible]ビルマ方面陸軍最高指揮官宛左の如く祝電を發した

[illegible]天險を冒して短日月にしてラングーンを陥れビルマの要域を制壓せられた赫々たる御武勳に對し感謝の意を表するとともに併せて將兵各位の愈々御武運の長久を祈る

十二日再開

【東京發同盟】ラングーンの攻略についでシンガポール陥落後米英が東亞に於ける最後の據點として抵抗を續けて來た蘭印も遂に皇軍進撃の前に九日全面的に降伏するに至つたので、二月十四日より自然休會中の帝國議會はシンガポール陥落の際に於ける前例に倣つて本會議を開くこととなり大木衆議院書記官長は十日午前[illegible]時、小林貴族院書記官長は同十時半首相官邸に星野書記官長を訪問、議事日程その他に關して打合せを行つた結果、十二日貴族院は午前十時、衆議院は午後一時より夫々本會議を開くことゝなつた、而して同日の議院では[illegible]劈頭東條首相より今後に臨むべき政府の方策につき發言、ついで陸海兩相よりシンガポール陥落後より現在に至る戰況報告を行つた後、貴衆兩院とも皇軍の赫々たる戰果に對して祝意並びに感謝の決議を上程これを可決する筈で、このため衆議院では十日午後、貴族院は十一日夫々各派交渉會を開き打合せを行ふ、右に關し政府は十日次の如く發表した

情報局發表

情報局發表、來る十二日帝國議會に於て總理大臣の發言がありついで陸海兩大臣より戰況に關する報告がある筈である

衆院議事日程

【東京發同盟】蘭印全土無條件降伏に呼應して十二日特に本會議を開催する衆議院では十日午後院内に各派交渉會を開き内ケ崎副議長以下各派交渉員[illegible]の上十二日の議事日程ならびに[illegible]左のごとく決定した、十二日午後一時本會議開會

一、[illegible]東條首相より雄大なる作戰の進展に伴ひ帝國政府の方途に關し發言を行ふ

一、ついで東條陸相島田海相より戰況報告を行ふ

一、これに對し各派共同提案の「蘭印鎭定ならびにラングーン攻略につき祝賀ならびに感謝の決議案文」を上程清瀬一郎氏より提案理由を說明して全會一致可決する

一、これに對し陸海兩相より謝辭あつて散會する

一、右決議案文は十二日午前の各派交渉會において可決する

定例閣議

【東京發同盟】十日の定例閣議は午前十時二十分開會、東條首相以下各閣僚出席、中小商工業の轉換問題並に[illegible]の促進方策[illegible]鈴木企畫院總裁より說明、次で谷[illegible]より第二次[illegible]を來る十二日に決定する旨[illegible]で星野書記官長より來る十二日帝國議會において東條首相より發言があり次で陸、海兩相より戰況報告がある旨報告、午後零時半散會した

南方占領諸地域に
强力な資源調査團
閣議決定人選に着手

南方占領諸地域の資源調査の第一段階は完全なる成果を以て終了したといふ事が出來よう從つて南方重要資源の開發が[illegible]に引續く當面の重要問題となつて來たが物動計畫その他の重要國策の樹立に當つて從來の南方資源調査の結果は極めて不正確であり且つ英蘭米時間の資料が大部分である事情もあり、第[illegible]の現狀を更に正確に日本的[illegible]に於て再調査檢討することが絶對に必要であり、これがため調査の完了することが爾後處理の第一條件となつたので十日の定例閣議に於て南方占領諸地域全般に强力なる官民協同の資源調査團を派遣することに決定、政府はこれが人選に着手した

米の關心印度に集る

【マドリード八日發同盟】エフエ通信のニューヨーク電によると日本軍のビルマ、ジャバ進出に伴ひ印度が依然米國朝野の視聽を集めるに至つた、即ち印度に對する米國の關心は

一、日本の强力なる進撃を喰止める障壁は印度三億九千萬の民衆をおいて外にないこと

一、日本海軍の印度洋制壓は印度濠洲にとり致命的なるのみならず西亞方面の英軍に脅威を與へると共にイラン經由の援ソ、アッサム經由の援蔣物資輸送を停止せしむるものであること

などの理由から依然高まつて來たものである、この意味から米英は印度洋の重要性を特に强調するに至り最近英國の近東特使リットルトンが「紅海に臨むエリトリアに米の軍事基地を建設中だ」と發表したことも印度洋重視の一證左である

奇蹟のみが日本軍を阻止
米評論家論評

【リスボン九日發同盟】ニューヨーク來電によればUP通信の軍事評論家イエーツ・スターリング退役海軍少將はジャバ島陥落の結果在米國から東亞への連絡路はハワイからサモア、ニューカレドニアを通じ濠洲東岸に至るものだけとなつた濠洲北岸の重要據點ポートダーウイン、ブルム、ヴインダムなどは既に日本軍の[illegible]

直面[illegible]の危機に曝されてゐるが、東岸と南岸は未だ安全で聯合軍はここに海空軍を集結して濠洲の防衛に全力を擧ると同時に日本軍の鐵環陣の突破の最後の努力を試みる外あるまい

爪哇監禁邦人救出へ我が部隊急行す

【バタビヤ十日發同盟】ジャバ在留邦人はスカブミ（バタビヤ南方九十粁）に監禁されてゐることが判明し、わが救出部隊が現地へ急行中である、但し同地にある邦人の氏名人員など一切不明でその中一部は新米英[illegible]濠洲方面に送られたことが略確實となつた

マオス一帶制壓

【スラバヤ十日發同盟】ジャバ島東南部に戰果擴大中の○○部隊は九日敵が殘された唯一の抵抗線と恃むチラチャップ東北方マオス一帶地區を完全に制壓した、同地區にある蘭印軍濠洲軍はわが猛攻に[illegible]退路を失ひつつ蘭印軍の降服を[illegible]べき道を失ひつつ蘭印軍の降服を[illegible]るやむなきに至つた

國民學校教員の新奏任待遇
增員一千名發表

【東京發同盟】國民學校令施行に伴ひ文部省ではさきに教員の待遇向上を決定既に奏任待遇の校長、教頭の發令を見てゐるが十日本年第一期分として北海道を始め一道三十二府縣に亙つて校長五百四名（五等二名、七等四百八十五名、八等十七名）敎頭三百六名（七等二百六十六名、八等四十名）の新奏任待遇者を發表した、今期の增員定數は一千名で百九十名の缺員は今後の異動その他の際逐次補充して行く方針で今後繼續的に增員し國民學校敎員奏任待遇一萬名を目標に進めて行くはずである、國民學校敎員の奏任待遇は從來勤續年限の長いものなどに與へられてゐたもので國民學校敎員の全般的地位向上のためこの新制度に基く發令は初等敎育界に新たなる活を入れるものとして注目すべきものである

濠の破壞戰術

【リスボン九日發同盟】シドニー來電によれば濠洲政府は必要と認めた場合あらゆる道路、鐵道、飛行場、ドック及び港灣施設等を破壞し得る權能を各軍司令官に與へる旨發表した

濠洲、泰國と戰爭狀態發表

【リスボン十日發同盟】カンベラ來電によれば濠洲政府は三月二日午後三時以降濠洲は泰國と戰爭狀態にある旨十日發表した

濠洲、新西蘭の防衛を濠洲首相力說

【リスボン九日發同盟】ウエリントン來電によればフレーザー、ニュージーランド首相は事態に鑑み九日濠洲及びニュージーランド防衛の必要を力說して次の如く述べた

ニュージーランドは昨年十二月以來完全に戰時狀態に置かれ既に敵の如何なる攻撃に對しても有效に對抗出來るあらゆる手段が講ぜられてゐると共に英本國に對する原料物資並びに食糧品の供給は依然從來通り續行すべき方策が出來てゐるが今やニュージーランドの防衛は單にニュージーランドだけの問題ではなくして聯合國防衛線の一環確保の問題となつて來た、刻下の新情勢に於てニュージーランドと濠洲を防衛すべき必要は絶對である、余は米英兩國に對し絶對信頼を置いてをり彼等の企圖が失敗に歸したとは思つてゐない

人事

▲吉開右志太氏（海軍省[illegible]課副參事）西部及び東部の海運現狀視察の爲十日より出張十八日歸北の豫定
▲柳田榮二氏（商銀高雄支店長）十一日來北旅社[illegible]
▲鶴見[illegible]氏（海口總領事）十日來北

今日の府報

▲訓令第二十六號臺灣總督府交通局船員規程中改正の件▲訓令第二十七號公立實業學校の[illegible]職員の定員中改正の件▲告示第二百三十四號石油類の最高販賣價格指定の件▲告示第二百三十五號酒精[illegible]及酒精定價表中改正の件▲告示第二百三十六號[illegible]及同附屬品（輸入品を除く）の最高販賣價格指定の件▲告示第二百三十七號臺南都市計畫令施行規則による臺南市長都市計畫事業執行[illegible]の件▲告示第二百三十八號臺南都市計畫事業實施計畫認可の件▲[illegible]▲臺北市報發行

陸軍記念日講演會

【東京發同盟】十日日比谷公會堂に於て開催された陸軍記念日講演會に於て木村陸軍次官は「第三十七回陸軍記念日を迎へて」と題し佐藤陸軍省軍務課長は「大東亞戰爭に於ける[illegible]」と題し講演を行つた

輝く皇軍百戰必勝
最後まで勝ち抜く
木村陸軍次官講演要旨

木村次官の講演要旨左の通り

回顧すれば三十七年前の今月今日わが國家は[illegible]世界最大の陸軍を誇りてゐた露大帝國を向ふに廻し奉天[illegible]に一大會戰を最後勝利[illegible]決定したのである、しかして今日はまた[illegible]米英の[illegible]に對し世界の新秩序を建設すべく[illegible]の下あらゆる[illegible]を排除して彼らの東亞に於ける[illegible]を[illegible]しつつあるが三十七年前の大勝利が現在の日本、今日のわが[illegible]力を築き上げた一大原動力であつたことを想起すれば[illegible]る軍官民先輩各位の[illegible]に對し[illegible]の念に堪へざるものである、同時に[illegible]必勝未だ曾つて外侮を受けたことのない皇國の輝かしき歷史を思ひまたこれを世界各國の歷史と比較して今更ながら[illegible]の[illegible]のありがたさを深く深く[illegible]新たなる[illegible]に勝ち拔く決意である、今や全國民は[illegible]つてこの悠久の皇謨を永遠に[illegible]し奉るべく征戰の完遂に邁進してゐるのであるが御承知の如く近代の戰爭は單に武力のみに依つて終局の目的を達し得るものでなく實に國民の精神、科學工業、經濟[illegible]われ〳〵の兄が曾つて三十七年の昔[illegible]は前線に或は銃後に[illegible]かの大勝利を獲得した、この榮譽を[illegible]さぬやうわれ〳〵もまた全國民[illegible]に和衷協力その職責々々に於て一人殘らず國家總力戰の戰士として最後の五分間まで戰ひ拔き勝ち拔かうではありませんか、またかくてこそ大東亞戰爭最後の勝利を贏ち取ることが出來るものと信ずる次第である（寫眞は木村陸軍次官）

戰力擴充・眞の決戰
必勝には國內强化
佐藤軍務課長烈々の講演

佐藤軍務課長講演要旨

日露戰爭の開戰時期と終戰 戰爭に大切なことは通常二つある一つは開戰時期の[illegible]であり、その二は戰爭を決すべき最大會戰に[illegible]を收めることであるが、帝國は[illegible]にもかかはらず[illegible]國の[illegible]せられ工業[illegible]を遂行した、[illegible]力を[illegible]して明[illegible]內部に幾多の[illegible]があつたにも[illegible]

大東亞戰爭の開戰時期と緖戰 今次大東亞戰爭[illegible]の[illegible]に[illegible]したのである

[illegible]物資の貯藏とマレー方面[illegible]作戰の爲の[illegible]であつた、[illegible]米、英、蘭の日本に對する[illegible]、就中昨年七月二十五日資金凍結以來わが國に[illegible]入物特に石油の如き重要戰略物資[illegible]のみによつて國家の生存[illegible]行き詰るか[illegible]

大東亞戰爭指導の要諦 去る一月二十一日帝國議會の[illegible]頭東條首相は「大東亞戰爭指導の要諦は大東亞に於ける[illegible]を確保しまた重要資源地域をわが管理下に收め戰力を擴充しつつ[illegible]に協力し相呼應して[illegible]米英を屈伏せしむるまで戰ひ拔くにあり」と天下に明示せられたこの[illegible]は[illegible]ではあるが大東亞戰爭指導の要諦を盡して餘す所がないと思ふ

敵の企圖 米英は獨ソ戰に大なる[illegible]をかけまたアフリカより近東地方コーカサスを經てソ聯と提携[illegible]及び同じく近東地方を經て印度及び支那への[illegible]して重慶の[illegible]提携を[illegible]しつつまづ獨伊を屈伏せしめ次いで日本に[illegible]せんとする[illegible]の方面から來るか彼らの[illegible]は[illegible]第一の道はソ聯を[illegible]してこれと協同し[illegible]北方から日本本土に[illegible]、この案はソ聯が西に[illegible]米英の[illegible]を[illegible]英のため火中の[illegible]ひろふやうな愚を[illegible]第二の道は[illegible]及び印度方面から[illegible]

日露戰爭の教訓 [illegible]日露戰爭に鑑みれば[illegible]敗戰後の[illegible]の[illegible]キンは[illegible]して[illegible]一擧に[illegible]撃滅せしむる決心した、ここに重大なる敎訓がある、もしこの[illegible]の戰力があつて[illegible]の[illegible]日露戰爭に終止符が打たれたのではなからうか[illegible]

米英の矛盾と誤算 [illegible]の第一は米國の戰爭目的の矛盾である、米國は常にデモクラシー擁護を目的としてゐるが[illegible]「ヒットラリズム」及び「ファッシズム」を[illegible]

日本の戰力に對する誤算 次は日本の[illegible]に對する誤算である、[illegible]

刀と算盤 米國は[illegible]

大東亞戰爭の因數分解 大東亞戰爭[illegible]

必勝の信念 大東亞戰爭[illegible]ることはいふまでもない[illegible]ことこそ最も肝要なことであると信ずる（寫眞は佐藤軍務課長）

無線通信
機製作
専門
東京電氣
川崎市[illegible]
A―5

無線技術講義
獨學で無線通信士技術者となれる
新學期開講！校外生募集
[illegible]
校長 高田豐樹
東京無線技術學校出版部
東京無線技術學校
東京神田[illegible]

增谷文雄著（人生叢書の一）最新刊
生命の意義
B6判二二〇頁 價五十錢 送六錢
人生叢書（B6判百頁以上 價各五十錢 送六錢）
宮崎安右衞門著 捨て身の生活（十二版）
菅原時保著 本來の面目（十五版）
岡邦俊著 敎ひの論理（再版）
綠田善雄著 大乘文字禪（再版）
三宅玄道著 念佛の人生觀（十版）
伊福部隆彥著 無爲の人生觀（十二版）
同 靑年の道（十六版）
三田谷啓著 女性に送る（十二版）
同 若き女性の問題（最新刊）
河合諄太郎著 觀音の精神（最新刊）
人間とは何ぞや 松下三省著 價一・二〇 送・一二
靑年の世界 清水幾太郎著 價一・二〇 送・一二
同文館
東京・小石川・水道端 振替東京一三五番

特輯 戰爭貫徹の具體案
◇我が獨自の民族政策…村山道雄
◇高度國防國家の外延…原田鋼
◇南方開發の構想…中村正一
◇大東亞圈の人口問題…古屋芳雄
戰爭經濟學の方法 難波田春夫
◆時局建設問答 ◆社說三題 ◆六號時評 ◆その他
◇修行の形態とその意義…岸本英夫
旗の美…東京工大助敎授 谷口吉郞
英國を弔ふ
◇井澤弘・神田孝一・塚原嘉衞・寺田彌吉
わが敎育論…前波仲尾
◇四方函明（詩）…齋藤史 ◇禮讚日本（歌）…高崎正秀
忠臣の遺跡を尋ねて…田邊耕一郞
三月號九十錢・東京銀座・第一公論社
公論
建國賦 ラクビヤセ版 滿洲建國十周年
ビルマ・印度の獨立運動
◇國分正三 ◇山田秀三 ◇五十嵐智照 ◇廣田英評
◆夜襲と敵前上陸…中島少佐
◆帝國海軍史論…廣瀨大佐
＝詩と歌 シンガポール陷落 神の軍勢…福田正夫 野村哲久
創作 世紀の進軍 八木沼丈夫 新七艦 大坪草二郞
高丘親王 マレー最初の日本人 杉本直治郞

お子様の生活錬成に
小學館の少國民雜誌
國民學校一年生・二年生のお子樣にこの雜誌を（定價四十五錢）

（ミコ一年生ークン）（ミコ二年生ークン）（改題合併）
內容の一端
◎シンガポール陷落…佐藤春之助
◎伸びる日本…井上司郞
◎マレーの奮戰…中村新太郞
◎お掃除…小林純一
◎立派な心…小川未明
◎山田長政とタイ…高木卓
◎軍艦の父さんへ…田川英子
國民學校三年・四年・五年生の方にこの雜誌を（定價五十錢）

（こくみん三年生 國民四年生 國民五年生 改題合併）
內容の一端
◎雷擊戰…林一郞四郞
◎南方の生活…三木一二五三九
◎陸軍記念日…山口少佐
◎吉田松陰…豐島與志雄
◎彿印から來た毬…西原康
◎西遊記…佐藤春夫
◎愛國の歌…齋藤瀏
三月號發賣
賣物發見の上、お子樣にお買へ下さい
東京神田 小學館 振替東京四五一〇七

社説

和蘭王國ここに消滅す

蘭印裁定作戰の意義重大

一

三月九日午後三時、バイテンゾルグの蘭印總督官邸の屋上高く大日章旗が翻つた。將に新嘉坡陷落以來の感激の日章旗であり、一億國民待望の、感激の日章旗であつた。然も攻略開始以來僅かに九日に足らずして敵將スタルケンボルグ總督以下十萬の敵全軍が全面的に降伏したのだ。疾風迅雷の作戰、忠烈鬼神も哭かしむる〝みいくさ〟の威風はここにも遺憾なく發揮されたのである。顧みれば昨年十二月八日、畏くも米英兩國に對し宣戰の大詔煥發あらせられてより僅かに三ケ月、御稜威の洽ねきところ一億國民の團結の凝り固まるところ征戰の軍の進むところ、陸に海に空に捷報頻々、忽ちにして香港を屠り、マレー沖、ジャバ沖等に於て英、米艦隊を撃滅、比律賓、マレー、ビルマ、蘭印は皇軍の掌中に歸くが如く、バタアン半島及びビルマで[illegible]の一角に殘敵の掃蕩する外、吾が大東亞共榮圏内に敵の一兵をもみるは[illegible]に至つたことは、固より御稜威に歸すべきところであるが、又皇軍將兵の精強、その忠勇なる[illegible]、忠烈に負ふところが多い。

二

[illegible]蘭印軍の全面的降伏の大東亞戰爭に與ふべき決定的影響と意義に就ては、いまさら改めて云ふ迄もない。戰略的にいふならば先づ第一に太平洋と印度洋との分斷による米英の聯合作戰の破綻があげられる、第二には濠洲及び印度の孤立が擧げられるであらう。殊に濠洲は蘭印と[illegible]自國の國防力を以つてしては[illegible]にその防衞を全うし得ないので、今後益々英本國から離反し、對米依存とその隷屬化を強くせざるを得まい。ついで英本國にとつては印度洋が新に脅威せらるる結果、[illegible]必需品の確保が一大危機に晒さるることとなつて、國内人心の不安と動搖は益々深刻化せざるを得ず、米國も亦ゴム、錫、キナ等の重要資源を喪ふことによつて甚大なる彼の軍備計畫に一大障碍を生ぜざるを得ない。之に反し我國は彼の失ふところを逆にことごとく獲得するところとなつて[illegible]石油の[illegible]の確立せらるるのだ。[illegible]濠洲の如きは、いかにもがけばとてもはや掌中にあるも同然、又わが精強なる海空軍部隊は太平洋及び印度洋の兩面に對して作戰の自由を確保し、米英兩國に對し本格的逆封鎖を行ふべき基地を有するに至つたのである。ルーズベルトが企圖せる彼の机上的ＡＢＣＤ對日包圍陣は、ここに脆くも瓦解し逆に米英兩國に對する又形包圍陣を形成、その兵站線を脅かし米英打倒に一歩を進めることになつたのである。將に主客その地位を顛倒するに至つたといふべきであらう。

三

だが、ここに哀れにも亦無殘を極めたのは和蘭の末路でなければならぬ。ルーズベルトやチャーチルの舌三寸に翻弄せられ、帝國の國力を過少評價しＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ陣の一環を以て任じながら遂にはその本國を五日間に失ひ、いま又本國に十數倍する〝寶庫〟蘭印全部を僅か九日で喪失、曾つて英、西兩國とともに歐洲に覇を唱へた和蘭王國はここに完く滅絶するに至つたのである。しかも唯一の恃みとする和蘭全艦隊はジャヴァ沖の藻屑とし、米、英の援軍は遂に來らず、獨力空拳を以つて戰つたその志は壯としても世界の大勢を明察せず、歷史の必然的方向を見誤り、遂にその國を亡ぼすに至つたウイルミナ女王政府及び蘭印政府當局の罪は決して輕くない。由來イギリスは〝その腕に抱かるるすべてのものを殺して了ふ〟（ルイ・アルタン）といはれてゐるがイギリスの腕に抱かれた和蘭こそ、かくてその最後のものまでも失つて了つたのだ。すべてを捧げつくして了つた時、和蘭國及び和蘭國民に與へらるるイギリスの贈物が何であるかは、いまこそ身を以つて嘗々の[illegible]しさを感ずるときがあるであらう。遠からず、和蘭及び蘭印の運命が蔣介石及び蔣政權の運命でないと何人が保證し得ようか。濠洲、印度又然り、翻然として今こそ大眼を開くべき秋であらう。

皇軍は進撃する

パレンバン攻略決行

無軌道！敵軍〝兵器を遺棄〟逃走

ムシ河遡航部隊從軍記

【東京電話同盟】パレンバンにて渡邊雪末、西田兩海軍報道班員十七日發　[illegible]して待つこと幾日、あゝ決行の日は來た、パレンバン攻略が決行されたのだ　記者等は特に許されて軍艦〇〇に便乘バンカ島ムントクを攻略、更にムシ河遡航部隊に從軍しパレンバン攻略を目の當りにし尙またパレンバン市民の喜びに湧く[illegible]に接し得た以下はパレンバン攻略從軍記である

上陸完了、敵の抵抗なし

十四日午後〇時明滅するバンカ島の[illegible]を右舷に[illegible]、わが輸送船隊は[illegible]を終つた、月は無く眠るやうな星月夜であつた、輸送船隊は[illegible]んで基地を出發した、いつの間にか輸送船隊の主力が見えなくなつた、ムントク上陸部隊だけを殘して主力はパレンバン攻略に向つたのだ、十五日午前〇時艦隊は錨を投じた、ムントク攻略部隊は乘り出した、ムントクも相も變らず闇の中に眠りこくつてゐる[illegible]、午前二時[illegible]から一齊に舟艇が水面に下ろされた、[illegible]飛行機も飛んで來ない、舟艇に乘組んだ勇士の目には何物も恐れない不敵な[illegible]がきらきらと光つてゐる、やがて舟艇はざざざーッと[illegible]を嚙んで海岸に乘上げた、甲板から[illegible]を透して見てゐるとひらりひらり砂上に飛び立つ男子の姿が影繪のやうに[illegible]の瞬間に[illegible]されて行つた、やがて「上陸完了、敵の抵抗無し」の信號が[illegible]いた何といふあつけなさだ、敵はわが猛襲に逸早く遁走してしまつてゐたのだ陸戰部隊は直ちにムントク飛行場を占領した、あまりのあつけなさに氣ぬけのした記者等も然し次の瞬間にははつと緊張感を呼び戻した

敵は盲射、皇軍は必中彈

[illegible]を乘せた小艇は早くも[illegible]と共にパレンバン攻略部隊の[illegible]に[illegible]つてゐた、[illegible]はしようさを[illegible]立てて暗い海上の前進を續けた、それからは[illegible]午前八時半やつと[illegible]に追ひついた、午前九時四十分[illegible]に[illegible]して來る敵機との死鬪が續いた、[illegible]三機が襲ひかかつたのを皮切りに午後四時五十分までに前後六回[illegible]二十七の[illegible]が襲撃して來た、[illegible]には飛行機は無かつたのでその度びに[illegible]が張られ、ゴーッと[illegible]の切る風音が頭上を[illegible]く過る、[illegible]は[illegible]が無い、[illegible]行き[illegible]の身に[illegible]までが防禦に[illegible]たりの[illegible]を[illegible]ける、[illegible]はムシ河[illegible]ガシャッ、ドシャッとシャッターを切つてゐた、[illegible]は十六日の夜明けを迎へた[illegible]ムシ河を遡航して、パレンバン攻略の日だ、[illegible]てゐた探照燈の光芒がまた交錯してゐた、その時明けきらぬムシ河の[illegible]を矢のやうに下つて行く一千トン[illegible]二隻がその光芒の中に捕へられた、明らかに[illegible]だつた、[illegible]いた、[illegible]いて二發、三發、一隻の[illegible]の下甲板にパッと大火柱が吹き上り、一分、二分[illegible]れるやうに[illegible]から水中に沈んで行つた

[illegible]る一隻は必死となつて逃れやうともがき廻つたが、それも長くは續かなかつた、一發必中の彈丸がグッと[illegible]に[illegible]り込んで、それつきりだつた、洋上は元の何も無かつたやうに[illegible]に返つた午前八時[illegible]の[illegible]上高く出發信號が揚げられた、[illegible]、[illegible]隊、[illegible]いて〇〇、その後に[illegible]が[illegible]陣を作つて進んだ、記者は[illegible]〇〇に乘組んだ、ムシ河の河口は幅一千米餘り水深七米餘り、濁流[illegible]として水流は矢の如く早く[illegible]は[illegible]を[illegible]めた、更に[illegible]は[illegible]たるジャングルが水際まで迫り、何處にどんな[illegible]が[illegible]されてゐるか見當も附かない

パ飛行場確保の報！

[illegible]一時間、河幅は三百米ぐらゐになる、風がぱつたり止んだ、[illegible]やうな[illegible]さがやつて來た、スコールだ、一寸先も見えない[illegible]で前進も出來ない、やつとスコールが上つた、この時友軍機が一[illegible]附近を水面すれすれに飛行してゐると見る間に[illegible]一本の[illegible]の兵が一人ざんぶと[illegible]の中に飛込んだ、この[illegible]れに[illegible]ちたら[illegible]と呼ばぬといふこのムシ河に、何といふ大膽さだ、[illegible]やがてぽつかり水面に浮んだ、その兵は[illegible]を切つて[illegible]に泳ぎ着いた、[illegible]の[illegible]を[illegible]したのだつた、それによると[illegible]にパレンバン飛行場は[illegible]により確保され[illegible]は昨日[illegible]した上[illegible]一隊が[illegible]し附近に[illegible]なく

凄絶悲壯信號長戰死

[illegible]

ムシ本河支流さへ[illegible]に[illegible]なしといふことであつた、船路は[illegible]ぎに[illegible]いだ、午後三時[illegible]の[illegible]が「飛行機六機、右百二十度」と[illegible]つた、きつと[illegible]が[illegible]つた「六機に[illegible]、友軍機二機退[illegible]しつつあり」[illegible]も友軍機も全速力で頭上を通り過ぎてしまつた、船[illegible]は前進を續けたやがて前方に天に沖する黑煙が[illegible]に映つた「火も見えるぞ」[illegible]員が叫んだ、[illegible]パレンバンだ、[illegible]が放火して逃げた石油タンクが黑煙を渦卷いて燃えてゐるのだ火は一ケ所ではない、空に向つて四ケ所から[illegible]する黑煙が[illegible]合ひ[illegible]合つてパレンバン最後の日を飾つてゐるのだ、河の色が[illegible]に[illegible]つた、黑色に赤、[illegible]色に日ざしの加減できらきら光る石油だ、油の河は行けども行けどもとぎれない、午後六時近く最初の[illegible]が發見された、す早くこれを[illegible]分した、[illegible]の[illegible]にまで落ちかかつた、第二、第三の[illegible]が[illegible]された、[illegible]原に入つたらしい、運命の十七日朝は[illegible]

…と[illegible]れ[illegible]れにかう言つた、[illegible]に、五人の[illegible]兵が[illegible]けて來た、今迄かんとする[illegible]長の[illegible]い[illegible]を見[illegible]つた、何を言はんとするか、血の[illegible]い[illegible]が[illegible]いた、一言一言[illegible]引くやうに[illegible]のことについて言つてゐるのだ、最後の力を絞つて引揚の注意を與へてゐる、その[illegible]にきつと[illegible]が立つた、[illegible]だ、死を超越した[illegible]力がその[illegible]に現はれてゐるのだ、[illegible]兵が泣いた、[illegible]も泣いた記者も泣いた、もう口を[illegible]く氣力さへ失つたやうだ、[illegible]長としての[illegible]い[illegible]は今終りを告げたのだ「[illegible]長[illegible]に何か言ひ殘すことはないか」[illegible]が耳元で叫ぶやうに言つた、頭を[illegible]に[illegible]つたそして最後の力で叫んだ、その言葉を記者ははつきり聞いた「日本帝國萬歲、萬歲、萬歲」これが[illegible]長の最期だつた……海行かば水漬く屍、大君の邊にこそ死なめ……この言葉が[illegible]と[illegible]を突いた『あつ着いた』誰か叫んだ見よ、目の前に昨日入城した[illegible]が靜かに[illegible]たはつてゐるではないか[illegible]を[illegible]した街が[illegible]に並んでゐる、わが[illegible]〇〇はパレンバンに[illegible]の入城をしたのだ、[illegible]時二十七日午後二時半だつた、午前十一時記者は司令[illegible]と一[illegible]

[illegible]

全蘭印裁定に感激

引揚邦人が語る將來への抱負

【東京電話同盟】全蘭印軍は遂に全面的に降服した、去る一日皇軍のジャバ島敵前上陸後僅か九日にして全蘭印の裁定は成つたのである、マレー敗退、シ島失陷後敗殘[illegible]軍がよつてもつて抗日最後の據點とした蘭印も今その豐富なる資源と共にわが手に歸し四千三百萬の全蘭印民族が三世紀にわたるオランダの[illegible]から脱して大東亞共榮圏の住民として解放される日は遂に來た、[illegible]オランダの[illegible]に[illegible]を呑んで蘭印を後にした引揚邦人達にこの感激とそして將來の抱負を聽く

岡野繁藏氏（在住三十年、千代田百貨店[illegible]）とうとう無條件降伏ですか、あれ[illegible]つてわが國の[illegible]を無視してＡＢＣＤ陣の中核と[illegible]つてゐたオランダ政治家を[illegible]することばかり考へてゐた[illegible]は[illegible]だ、無條件降伏を聞いて[illegible]しいことは[illegible]手の舞ひ足の踏むところを知らないが、氣にかかるのは未だ殘つてゐる在留同胞のことです、われわれは[illegible]で追ひ出されたが、日本へ歸れない千數百名の在留同胞の運命は我が彼等の[illegible]性を知つてゐるだけに一層氣にかかる、濠洲へ送られたといふが、[illegible]とともに同胞も返して貰ひたいものだ、[illegible]は許可さへあれば今すぐにもあちらへ歸りたい、今まで[illegible]で[illegible]いたが、それは他人の[illegible]をしてゐるやうな氣[illegible]たが、今度は日本の國に[illegible]のだから指導者としての[illegible]持つて[illegible]し住民達と[illegible]い、今までも住民達はオ[illegible]政府に[illegible]してゐたが、今[illegible]そ大びらに協力して來る[illegible]あるので[illegible]があると思ひます

竹井十郎氏（在住三十[illegible]、蘭印文化研究家）私は二十[illegible]間彼の地でオランダに[illegible]してゐる住民達の風俗、文化[illegible]してゐたのだが、彼等[illegible]ＡＢＣＤ陣に加はつて[illegible]

浮田協次氏（元バタビヤ[illegible]）蘭印の全面的降伏の發表に[illegible]し私は神選民族な皇軍へ大[illegible]る感謝を捧げるものであります[illegible]大正元年から五ケ年間[illegible]の[illegible]として在留してゐただけに[illegible]蘭印政府の土着民や在留日本人に對してあらゆる[illegible]

井手諧一郎氏（南洋興發[illegible]）蘭印全面的降伏の發表を聞いて昔日の[illegible]

[illegible]

陸軍記念日を迎へ

井上軍報道部長全島に放送

第三十七回陸軍記念日に當り井上臺灣軍報道部長は十日午後六時半から二十九分間に亙り臺北放送局から大要左の如く全島に放送した

明治七回陸軍記念日を迎へたる今日東京灣より[illegible]十五百里の濠洲の領域に至るまで我が大日章旗は進み南北太平洋は既にわが皇軍の制壓下にあり、大東亞建設の構想は着々として進展しつつある[illegible]に直面し吾等は限りなき歡喜と感謝を覺ゆる、此の新たなる時局を偲ぶと同時に先人の偉業を追慕するの念一入深く[illegible]自ら[illegible]るを覺ゆる、惡しくも我が國が[illegible]の岐路に立ち[illegible]に[illegible]へ天佑と人の和とを以て見事に強敵ロシアを撃碎し帝國の地步を[illegible]東洋の天地から世界の檜舞台[illegible]たのはあの日露戰爭に於て勝利の榮冠を獲得した時からである「死後矢の如し」特に三十有七年、何時とはなしに日露戰爭當時の國難に對する感想は動もすれば薄らぎ[illegible]今次勃發せる大東亞戰爭の規模と[illegible]があまりにも宏壯雄大なる爲に

日露　戰役のことは次第に國民の腦裡から[illegible]かり行く[illegible]れども人生は過去と現在と未來との連續であり過去の[illegible]によつて現在が成立ち、現在によつて未來の希望が實現されるは[illegible]ひのない事實である、[illegible]記念日と[illegible]ものの深い意義が存する[illegible]今次の大東亞戰爭の目的とする所は先づ東亞を歐米帝國主義の支配から解放せしめ東亞民族の共存共榮を實現し以て八紘一宇の大精神を顯現せんとする、大東亞戰は[illegible]日露戰爭の延長と觀るべきである事を忘れてはならぬ、[illegible]

[illegible]

[illegible]

聖旨　を奉じて[illegible]

連勝　の[illegible]

油斷　はならぬ、[illegible]

臺灣の貯蓄目標額

增加

内地一縣に及ばず

歸府した中嶋財務局長談

[illegible]

新規事業　は[illegible]

臺銀の增資　も[illegible]

四出張所を增加

米穀局各種業務迅速化

[illegible]

正條密植

新竹の增産運動

【新竹電話】[illegible]

標準小作料設定

新竹州農業經營合理化

【新竹電話】[illegible]

本原事賣局長上京

【神戸本社特電】[illegible]

株式

商況（十日）

積極的買　進み警戒

兜町前場況

【東京電話同盟】[illegible]

兜町後場況

【東京電話同盟】[illegible]

東京短期前場　**東京短期日步**　**東京短期後場**　**東京長期後場**　**大阪短期前場**　**大阪長期前場**　**大阪短期日步**　**大阪短期後場**　**大阪長期後場**　**東京國債實物**　**東京國債後場**　**東京銀行貸株**　**東京長期總取組**　**東短取組**

[illegible]

第二回戰時貯蓄債券

報國債券

一枚十四円　五円

出賣　四月一日より三十日

日本勸業銀行

大東亞戰爭感謝貯蓄

南方選書

（重版出來）

南方の姿　[illegible]

南洋の新知識　[illegible]

太平洋資源論　[illegible]

南方共榮圏　[illegible]

動く大南洋の實相　[illegible]

高山書院

能率をあげる

エビオス錠

……には胃腸を丈夫にし、疲勞の恢復を早めること。この目的に食後にエビオス錠の適用が好適です

大日本麥酒株式會社

タカヂアスターゼ

三共 SANKYO

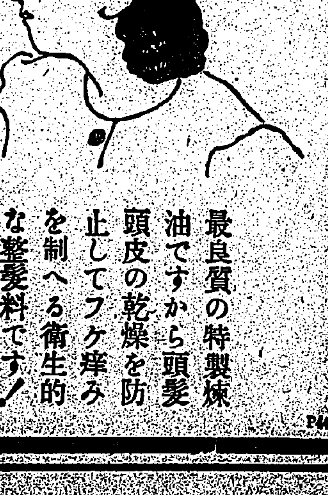
食慾不振に

強力消化酵素

一般局方ヂアスターゼとその組成を異にし、澱粉糖化力の著しく強大なることは勿論、麥芽、蛋白質ペプトン、脂肪、纖維素その他殖類分解酵素等數種を含有し、消化不良、食慾不振に適應す。

東京・室町　三共株式會社

臺北市表町一丁目　臺灣三共株式會社



特製

メヌマポマード

衞生

最良質の特製煉油ですから頭髮頭皮の乾燥を防止してフケ痒みを制へる衞生的な整髮料です！

この一粒！

強力なるビタミンＡ・Ｄ・Ｂ₂ホルモン・造血素を補給し

この一粒！

疲勞を速かに恢復し、榮養を充實して弱體を制壓し…

この一粒！

胃腸を害せず服用容易の國民的强壯劑です

エーデー

農林省水産試驗場創製

わかもと本舗

急性淋疾　慢性淋疾

その他凡ゆる化膿症に

內服による化學療法

ザオキンは、化學療法に於ける有效因基を最も高率に含有してゐるからその效果は極めて迅速である。僅か數日にして止痛止膿し、速かに治癒に導く。何有害菌及毒にのみ作用し健康細胞や血球に對しては何等の被害なく、從つて副作用の心配はない。

アルス藥品部

ズルフオンアミド劑の最高規格品

ザオキン

再び沸く世紀の感激
堰を切る祝捷の奔流
あす戰捷第二次祝賀行事

[illegible]から敢なく消え去つたD[illegible]我等はこの日を如何に待望したことであらう、赫々たる皇軍の戰果、中外に轟き亙り、世紀の感激に再び[illegible]"戰捷第二次祝賀行事"は全國一齊に施行されることになつた、本島でも全島民の感激を一つにして祝賀行事を大々的に行ふことになり次の如く十日總督府より發表された、然し皇軍の輝やく大戰果が遂しく發表されてゆくに從ひ銃後國民の任務も増々擴大されて行くのだ、戰捷を祝賀すると共に益々皇軍への感謝を披瀝し"次なる戰ひ"への心構へ[illegible]

一、實施期日　三月十二日全島一齊に行ふものとす

二、實施事項

1　國旗掲揚　各戸は（官公衙、會社、銀行等を含む）一齊に國旗を掲揚して祝意を表はすこと

2　戰捷祈願祭　米英勢力撃滅を祈願すると共に最後の戰捷を祈願する爲全島の各神社に於て執行すること

3　戰捷祈願　當日正午を期して各自所在に於て戰歿英靈に對する感謝默禱を捧げると共に皇軍の武運長久の祈願を行ふこと

4　神社參拜

5　祝賀行進（旗行列、武裝行進）

6　市街庄民大會（市街庄奉公會分會主催）

7　體育行事　士氣昂揚を圖る爲角力、武道、競走其の他各種行事を實施すること

8　各學校に於ける祝賀行事　各學校適宜に實施すること

總督代理遺族を弔問

清水内務局長は十日午後二時より總督代理として大東亞戰爭の華と散つた陸軍少尉松川[illegible]氏の遺宅臺北市乃木町三ノ一松川フク[illegible]さん及陸軍少尉守屋[illegible]氏の遺族臺北市旭町二ノ四守屋[illegible]代さん方を夫々訪れ鄭重なる弔問を爲した

島民安じて職域に邁進
講演と映畫の夕盛況

大東亞戰爭下初に迎へた第卅七回陸軍記念日十日午後七時から陸軍では島民奉公會臺北市支會主催の講演と映畫の夕べを開催、定刻前から會場たる市公會堂には市民が陸續と詰めかけて滿堂に溢れた、先づ一同國民儀禮を行つて後拍手に迎へられて[illegible]"必勝の信念"と題し今日國民として**最も大切な事**は飽く迄戰ひ抜く事であつてそれには先づ武力に屈伏しつつある米英が次に打つ手であるところのゲリラ戰に[illegible]

[illegible]のである、支那事變四年有半大東亞戰爭に移行して三ケ月、既に日本は西南太平洋を制覇するところとなつた、聊々大東亞戰爭の敵因は世界制覇の野望に基く米英が其途上に於いて日本の膨脹を抑壓せんとしたものに外ならず、之が直接の敵性行爲は蔣介石を支援し、次いで對日包圍陣を形成して武力と共に經濟的に挑戰、然も日本が起つの意思なしと誤認した結果である、然し乍ら日本は今日あるを期し着々として之に備へつつあつたがために世界最大の二國を相[illegible]

[illegible]**弛緩せる精神**に依るも[illegible]

重々の光榮に感激
島内唯一人の軍事功勞者葉村氏

【基隆電話】陸軍記念日を下して陸軍大臣より軍事功勞者として島内より唯一人表彰を受けることになつた、基隆市義重町五ノ六家具商葉村[illegible]氏は過ぐる日露戰役に活躍した退役陸軍歩兵[illegible]である、同氏は[illegible]

[illegible]

主人に代つてタカ子夫人がこの度の感激を語つた

主人は四年前[illegible]で[illegible]から不自由な身體になつたので[illegible]

園兒たち白衣勇士を慰問

【基隆電話】[illegible]

溢る赤誠を錄音
きのふ軍司令部で

[illegible]

前線勇士からも弔慰金
きのふ海軍武官府へ

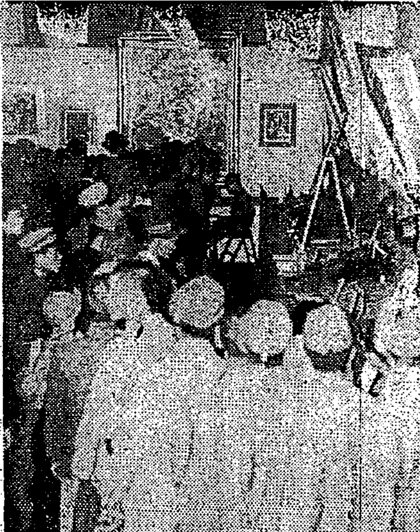
[illegible]られた第三十七回陸軍記念日を迎へた、十日臺北在勤海軍武官府へ大の如き弔慰金が寄託された、その中には第一線勇士も含まれ同武官府では大喜びで直ちに海軍大臣宛送付の手續をとつた

△七十八圓　臺北[illegible]

（寫眞は獻金狀況を錄[illegible]）

皇軍の勇武に感歎
大東亞戰爭展盛況裡に開幕

十日の陸軍記念日を初日とする大東亞戰爭[illegible]展覽會は午後一時から一般に公開したが參觀者は怒濤の如く押し寄せて[illegible]



兵役の諸屆出に就て

臺北市兵事課では[illegible]

▽陸軍[illegible]

志願兵志願者受付
きのふ一齊に締切らる
臺北市一萬七千名に達す

[illegible]

四千六百廿名
基隆市・志願總數

[illegible]

ジヤバ島に黎明
在住十二年の蘇[illegible]澤氏語る

【臺南電話】スラバヤに在住十二年、本[illegible]

最後の[illegible]

東亞人は一九四一年頃に[illegible]

黎明は遂に來たのだ、東亞共榮圈の一員としてインドネシヤ族は決然立ち上るだらう

聖戰完遂講演會
今夕・宜蘭公會堂で

【宜蘭電話】[illegible]

下痢に ワカ末

嘉義民雄間復舊

[illegible]

デルモラン

國語普及研究會
けふ竹東街で開催

【新竹電話】[illegible]

戰史に不滅九軍神
家庭訪問記 ㈠

【東京電話同盟】昨年十二月八日の眞珠灣[illegible]

勤王に繰り深い土地の出
家思ひの故横山薫範特務少尉

【[illegible]同盟】横山薫範特務少尉の[illegible]

無口なおとなしい子供[illegible]

最後の[illegible]

胃腸に 照内末

熱情包む着實な性格
上州前橋の生れ故岩佐直治中佐

【[illegible]】（海軍省許可濟第三五七一號）

【前橋電話同盟】五尺の體より一[illegible]

息詰るそうなラジオニュース[illegible]

成長し小學校時代の[illegible]

一番の成績を通し[illegible]

典型的中學生であつた[illegible]

かくて昭和十三年三月[illegible]

寄せる島民感謝の誠
皇軍將兵慰問金 ㉝
本社受付分

[illegible]

金二百八圓　日本ビクター[illegible]

金百圓　[illegible]

小計金二千九百九十二圓[illegible]

累計金二十九萬二千三百十圓六十五錢也

重傷も屈せず英將校を射伏す
鬼神をもひしぐ三木上等兵の勇猛

【モールメン[illegible]】[illegible]

殘敵偵察の命を受けて[illegible]

ビルマ戰線の[illegible]

ラジオ

[illegible]

スラく書ける フリコペン FRIKO 總發賣元 西村輔松商店

遞信講習所普通科第一部生募集

受驗資格　滿十四年以上十九年未滿ノ男子

願書受付期日　昭和十七年三月二十日

募集人員　約五十名

試驗科目　國語、算術、地理（[illegible]）

試驗期日　三月二十七日、二十八日、二十九日ノ三日間

試驗場所　臺北、新竹、臺中、臺南、高雄、花蓮港、臺東

詳細ハ三月八日附府報參照セラレタシ

臺灣總督府交通局遞信部

齒科 青木齒科醫院

有價證券賣買 臺北市大和町 明治屋商店 電四五五五・八五九〇番

今日の映畫 [illegible]

カセイン ガンマー

臺陽汽船商事 第八回決算報告 [illegible]

第四拾五回決算公告 [illegible]

臺北鐵道株式會社 [illegible]

第七回營業報告 臺灣第一劇場 [illegible]

解散公告 共益自動車會社 [illegible]

父上田要一儀 腦溢血ニテ[illegible]

昭和十七年三月十一日

男　上田[illegible]

[illegible]

[illegible]

感激も新
戰捷下陸軍記念日
繰り展ぐ！皇軍へ"感謝の赤誠"
きのふ各地で盛大な行事

吾々の祖父が、父が感泣したであらう奉天占領の歷史的大勝捷—あの日、あの年から早やくもめぐりめぐつて三十七周年、あの日の若き勇士の血を受け繼いだつはものはいま米英と云ふ世界最大を誇る老獪な相手を敵として堂々の戰を進めてゐるのである、すでに香港、マニラ、更にシンガポール、バタビヤ、ラングーン等々敵の首都を次から次と我が手に陷してゐるのだ、ああなんと云ふ大戰果であらう、この赫々たる世紀の勝利裡に迎へた初の大東亞戰下『陸軍記念日』のきのふは一億國民がかつて祖父や父が感激したそれ以上の感激と歡喜で胸が一ぱいだつた、全島各地ではこの日を一層意義あらしめるべく銃後を淨ぐと共に皇軍に感謝しその武運長久を祈念、また銃後奉公、若人の意氣を示す聯合演習を實施、夜は講演會等終日諸行事を繰展げられた、尚この日から皇軍感謝週間と銘打つて前線將兵への慰問品發送は勿論、白衣の勇士慰問、譽れの家への援護等、前線、銃後一體となつて愈々聖戰完遂への固い固い決意をしたのである

第四部隊精鋭參加
臺南で盛んな"市街戰"

【臺南電話】大東亞戰下、輝く日露戰爭の大勝を想起し必勝の信念を堅持して聖戰完遂に邁進すべき意義深き陸軍記念日を迎へ臺南市では早朝より陸軍墓地に參詣する南支派遣の英靈へ參拜する市民の姿は[illegible]を掲げた午前八時半より第四部隊、警察、男子中等學校、青年團、勤報部隊の聯合による市街戰が州廳前兒玉（像）を中心に繰ひろげられ、南方戰線に想ひを馳せて敢闘する部隊將兵並に若き學徒の勇壯たる演技を示し、同九時半演習を終了、引つづき十時半より演習參加部隊、男女中等學校、國民學校五年生以上參加の下に銀座通りに於て臺南部隊長（正隊）吉田兵事部長（海軍）伊藤駐在武官（陸軍）が夫々受閱官となり堂々たる分列行進を行ひ　その末市內行進を實施し、皇軍の武を高唱して無比なる我が陸軍を讃へ正午終了した、一方各學校では記念式、式後では映畫會が行はれ、又各團體及び一般市民の有志が陸軍病院を慰問し皇軍に對する感謝の赤誠を披瀝した兵を受けたのち堂々の分列行進あつて午後一時過ぎ市民に多大の感銘を與へ大東亞戰下に迎へた初の陸軍記念日に相應しい軍國繪巻を閉ぢた、同午後七時半から市會議事堂で今田中佐の"陸軍記念日を回想し現下の國際"における國民の覺悟"と題する講演會が開かれたが聽衆一千名に及び立錐の餘地なく盛況であつた

"敵前渡河"演習
壯烈！前線を偲ぶ高雄

【高雄電話】ラングーン陷落、ジヤワ蘭印軍無條件降伏などの輝しい戰果の節點に相い立つ十日の陸軍記念日高雄市では十九萬市民日章旗を掲げ、三十八年前のこの日の感激を新たにするとともに正午を期し各々在所にて護國の英靈に感謝を捧げ皇軍の武運長久を祈念して大東亞共榮圈建設のため益々銃後の固めを誓ふせんとの決意を固めたが午前十時よりは在高部隊、在鄉軍人會、警防團、學徒等の壯烈なる聯合演習が新興堡で行はれ、[illegible]司令官、坂口知事統監の下に火蓋を切つた、東、西兩軍は先づ飛行機の高雄川を挾んで果敢なる敵前渡河を決行しジョホール水道における皇軍の敵前渡河を眼前に彷彿させたが東軍は次第に西軍を壓迫、隨所に至る所相持つ白兵戰を演じ各陣地は陸々と大岡山に敵を壓つた、かくて市街戰は壽山山麓にまで及び正午休戰ラッパの音とともに兩軍は鋒を收め隊伍を整へて市役所前廣場に集合、ここにて講評の

白衣勇士に感謝
高雄陸軍病院恤兵金

【高雄電話】皇軍の武威赫々として南溟に輝くとき國民の感謝感激は彌々昂る、陸軍病院高雄分院に寄せられた二月中の恤兵金品は次の通りである

△恤兵金　百圓高雄市堀江町二ノ一金子小太郎、三百圓新竹州產業組合代表、[illegible]、五十圓高雄州[illegible]組合代表[illegible]、十圓高雄市入船町三ノ六吉田キクヨ、五十圓岡山郡[illegible]代表玉岡信夫、百圓高雄市東本願寺婦人會代表杉本精子、三百圓高雄市會議員代表[illegible]田良誠、五圓高雄市平和町四ノ一北野敏道

△恤兵品　花輪二個高雄市大港埔三七五岡島馬三郎、雜誌八冊高雄專賣局職員後援會梶原謙一、カステーラ十二箱高雄市大港埔四三一橋金藏、御茶菓五十個高雄部隊員一同、花瓶五個高雄市新興町三七四西岡セイ

南方澳に電話開通

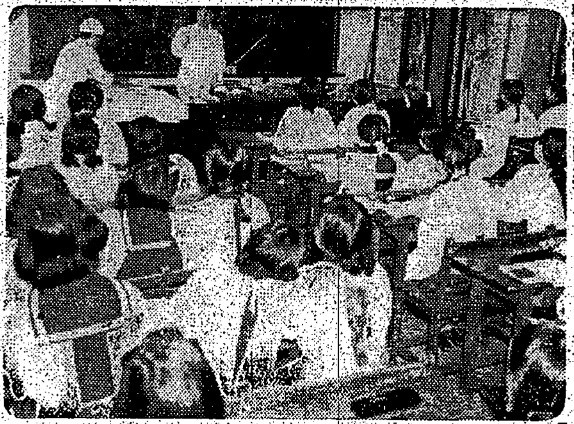
【蘇澳電話】一昨年、一百萬圓餘の巨費を投じ完成した蘇澳郡南方澳の漁港は漁業の隆盛を示す水揚高を誇り從來電話交換の設備もなく取引は時間的に敏速を缺き、鮮魚仲買人並に關係業者等は不便を感じてゐたが通信施設に於ても魚港施設以來著しく發展した南方澳の現況に鑑み電話交換の設備工事中であつたが竣工を見たので三月十日を期し交換事務を開始、同日午後二時より蘇澳郵便局南方澳出張所に於てその祝賀式を舉行した、因みに今回の開通加入數は五十番までである

臺東アヂサイ歌會開催

【臺東電話】臺東のアヂサイ歌會では十日午後八時から臺東街鐵道食堂新館樓上において大會を催した、同會は臺東街內のみで會員百餘名を有する由で歌道により國民精神發揚と地方文化に貢獻する目的で誕生したもので渡邊氏の挨拶、堀田中學校長の歌道と國の話があり明智郡守代理の祝辭、會員の詠進歌の披講あり和氣靄々裡に十時散會したが出席者五十餘名であつた

第二期青訓實施
十三日皇奉嘉義郡支會

【嘉義電話】嘉義郡では十三日から向ふ十日間、民雄[illegible]道場において第二種青年訓練を實施することとなり十三日午前十時より同所において入所式を舉行する、人員は六十名である



看護助手の訓練 2
施療法修得へ
純眞一路の乙女心

燃ゆるやうな瞳は輝き、先生の說く講義の一言一句に吸込まれる樣に眞劍な勉學振りである、今春女學校を巢立つ許りの年頃の乙女が卒業を待ち切れずこの訓練所に多數參加してゐる、學校の教室ではこれ程眞劍な向學への瞳は見受けられなかつたらう……これも彼女達が病床の兵隊さんを一日も早く看病したいと云ふ優しい撫子の眞心がさせるのだ、先づ彼女等の眼前にはピンセット、メスその他の醫療器具の名を覺え更に繃帶、脈搏、呼吸の測定法、繃帶法から人體生理衛生に及び各病氣の症狀など習得すべきものは次から次とある、彼女達は不明な點はどしどし質問の矢を飛ばして眞に看護助手の使命を果すべくその心構へを示す、『全く皆んな一生懸命ですよ、學校ではこれだけ勉强も進んでしないでせう』と先生方を喜ばしてゐる、これら多數に亙る學科技術の習得も一般より成績が良いと云はれるのも眞に純一路、戰地を偲べばこそであらう……

目標四百十五萬圓
新竹州國民貯蓄奬勵

【新竹電話】新竹州下の國民貯蓄は地方民の理解と州當局の努力に依り豫想以上の好成績を收めつつあるが州當局では更に一層の業績を期する爲め十日午前十時から州會議室に於て[illegible]表彰式を舉行した、因みに被表彰者左の通り

△團體　新竹郡[illegible]國民貯蓄組合、竹東郡八塊庄組合、大湖郡[illegible]庄組合、竹東郡竹東街組合、竹南郡造橋組合、苗栗郡[illegible]組合

△個人　[illegible]（[illegible]）、黃阿[illegible]（[illegible]）、池田佐吉（[illegible]）、上村宅次（[illegible]）

なほ昭和十七年度の新竹州目標額四百十五萬圓で之が所期目的達成に邁進すべく近く貯蓄奬勵週間を設定し貯蓄奬勵運動に乘り出すこととなつた

高雄州下壯丁團の檢閱

【高雄電話】高雄州では十五日午前八時より高雄高女校庭に州下の壯丁團を召集し坂口知事臨席の下に第十一回州下聯合保甲壯丁團檢閱を實施する

澎湖廳水產會相談會開催

【馬公電話】澎湖廳水產會では九日午前十時から廳會議室で開催、川添會長より澎湖水產業の振興將來の方策樹立大綱の說明あつて議事に入り午後五時頃散會した

嘉義

【嘉義電話】大東亞戰下最初に迎へた意義深き陸軍記念日の十日、嘉義市は拂曉を衝いて市街に展開された攻防演習の殷々たる銃聲に明けた、この朝軍をはじめ嘉中、嘉農、青年學校生徒は午前四時までに市役所に集結し攻守の兩軍に編成して市街を中心に壯烈なる攻防戰を實施し終つて市役所前廣場において分列閱兵式が行はれ同八時解散した、また當日は皇軍感謝週間の第一日でもあり早朝から市民は各個に嘉義神社に參拜して戰勝祈願、皇軍將兵の武運長久を祈願し高女、嘉中、東門の各國民學校では海軍の軍事講演會が開かれた

臺東

【臺東電話】臺東郡の大東亞戰下の陸軍記念日十日の行事は時局柄いとも嚴肅に質實裡に行はれた、午前十時から臺東神社において臺東分會を始め大祭があり街民は同十一時を期し一齊にそれぞれの在所において皇國の武運並に皇軍將兵に對する感謝の默禱を捧げたが各學校では各々時局講演を行つた、また十日から十六日までを皇軍感謝週間として實施した、この他生活の簡易化を各家庭で行ふことになつてゐる、その方法は徒歩の勵行、宴會の廢止、國防獻金記念日講演會は講演者の都合で十二日午後二時から臺東郡役所で行ふことに變更された

臺中で拂曉戰實施

【臺中電話】輝く大東亞戰爭下に迎へる十日の陸軍記念日に當り臺中市では軍、學徒隊、警察、青年學校を動員し米田知事統監となり聯合演習を實施した、同日朝まだき二中、中商、中工を以て編成した北軍は臺中グランドに、南軍、一中、中農各隊は時を同じくして州廳前に集結、彼我共に展開準備を整へ午前五時行動を開始、市內要所に拂曉戰を展開し午前八時休戰ラッパを合圖に終了、引續き八時二十分より國民學校々庭で州下各中等學校四千餘名參集の下に記念式を舉行、[illegible]萬歲三唱して閉式、それより州廳前大通りで分列行進を爲し若き學徒の意氣を示して散會、その他臺中神社の祈願祭、一般官民の戰捷祈願、國民學校兒童の旗行列、傷病兵慰問午後七時半から新富國民學校で軍事講演會等があつた

羅東

【羅東電話】羅東郡では第三十七回陸軍記念日に當り十日午前九時より街役場において記念式を盛大に舉行した、又羅東、明治、羅東國民學校では夫々校長の訓話あり更に出征皇軍將兵の慰問文および慰問袋を作成した、尚羅東神社には皇軍將兵の武運長久祈願のため在鄉軍人分會をはじめ青年學校、青年團、國民學校その他各種團體の參拜があつた

屏東

【屏東電話】第三十七回の意義深き陸軍記念日を迎へた屏東市では十日午前六時半より在屏部隊、警察、師範學校、各中等學校、青年訓練所生徒など參加して屏東街路を市の東北において展開した、天地を震かす砲聲に夢を破られた市民は屏東公園の一角で觀覽したが演習終了後閱兵があつて阿緱神社に參拜し皇軍將兵の武運長久と必勝祈願ののち、神社參道にて分列式を行ひ同八時半解散した

戰地へどつと慰問文
制服の乙女が眞心込めて

【花蓮港電話】花蓮港市における陸軍記念日行事は十日午前六時を以て攻防戰が開始され參加部隊は在鄉軍人、中學校、工業學校、農林學校、青年學校生徒及びその他一千名、[illegible]隊長統監となり南、北兩軍に分れ南軍は山田中尉、北軍は本山中尉指揮官となり南軍は花蓮港市の西南端吉野街道に、北軍は米崙中學校附近に集合、午前七時行動を開始、南軍は花岡山附近の敵を擊破すべく前進、北軍はこれを邀擊[illegible]を挾んで激烈なる白兵戰を演じ銃聲天地に轟き互ひに秘術を盡して戰つたが午前八時十分頃休止の喇叭とともに戰ひを終り花蓮港驛前の廣場に整列して分列行進を開始、黑金通りより郵便局前を右折、公園前に至つて解散した、同八時半からは花蓮港神社において官民多數參列の下に祈願祭を執行した、尚十日から向ふ七日間實施される皇軍感謝週間の行事としては生活の簡易化、國防獻金品の供出、"慰問文の送付"獎勵等などで花蓮港女學校では全生徒に慰問文を作成させ四百餘通を纏めて廳當局に送付方を依賴した

十二萬七百名突破
高雄州の志願兵志願數

【高雄電話】陸軍特別志願兵制度の恩典に浴した州民が皇國に捧げる熱意は打つて一丸となり高雄州下における志願兵志願者は締切日の十日午後六時現在までに概算十二萬七百九十五名に達し青年高雄の心意氣を遺憾なく發揮した

この日高雄市役所兵事課に一入陸軍記念日を下して志願書を提出するものが朝來から續々と詰め掛ける、中には大君の御楯と希望に眼を輝かせ傍ら老父の手を引いて來る青年もあつて係員を感激させたがこの日至高雄皇民鍊成協力會その他からの手續きをする者が殺到してこの日一日で八千餘の願書が提出され一躍一萬五千名を突破する好成績を收めた、同州下各市郡別による數字は次の通りである

高雄市	一五、〇〇五
屏東市	九、〇〇〇
岡山郡	一三、〇〇〇
鳳山郡	一七、〇七六
旗山郡	一三、二六二
屏東郡	一二、四一五
潮州郡	一九、五六七
東港郡	一八、一四八
恒春郡	三、三二二
計	一二〇、七九五

入場者五萬
臺中大東亞戰展

【臺中電話】臺中國民學校講堂で開催中の皇奉中央本部主催大東亞戰爭展覽會は十日午後五時盛況裡に閉幕した、州下各市郡から學校生徒兒童その他各團體、一般州民が押かけ會期中の入場延べ人員約五萬に達した、尚最後の盛況を見て感激の餘り入口の獻金箱で獻納袋を購入した者約千名を突破した

綠肥增產を獎勵
臺南州農會ハ肥料對策

【臺南電話】臺南州では農業經營の合理化を圖り施肥慣行の合理化を期すべく州農會では昨年來甘蔗、黃麻、棉、ヒマ等の各作物主要地毎に施肥標準檢定試驗を實施して來たが、前年度に於て甘蔗、棉、ヒマの試驗を大體完了せるを以て本年は黃麻に對する試驗を實施し一方水稻に對する各種窒素肥料の肥效試驗を併せて行ひ、州下農民に對する合理的施肥指導を爲し肥料配給の基礎資料確保につとめ、州下作物に適應せる配給の適正を期し一面自給肥料の增產を促進する一面綠肥獎勵、二千四萬二千八百餘圓を投じて堆肥舍の建設施設を獎勵し現下の肥料不足を克服することとなつた

生活部打合
皇奉高雄州支部

【高雄電話】皇奉高雄州支部では生活部定例打合會を十六日午後二時より州會議室にて開催するが打合事項は生活、文化、基本部落決定に關する件、健全娛樂、青年藝能發表會に關する件其の他である

人事

△[illegible]花蓮港廳長　十一日出府（花蓮港電話）

△小副川勇氏（高雄州經濟統制課長）九日來北

興亞の先覺者・荒尾精 (2)
內臺融和に一役 "工業化"を提唱

山中樵

明治二十七、八年戰役

明治二十七年日淸戰役の戰が起ると淸政府は俄に我が國を侮るべからずとなし大いに朝鮮になぐり之を自國統治の下に屬せんとする野心が明瞭となつたのであるが時の伊藤內閣は平和手段に依り之が解決を計らんとする形勢に際した我國の志士は之に決起つて淸國膺懲の聲を揚げ先生は大臣に高陸奧三[illegible]、佐々木高行、[illegible]、田中賢道等と懇談し更に上京して頭山滿、菊池四郎、古莊嘉門、國友重章等と會し淸國膺懲に對する根本大策を講じ在韓中の岡本柳之助と呼應して非常手段を執るに決し先生は志士青年を率ゐて渡韓し大院君を擁して一擧に淸國勢力を驅逐せんとする計畫を確立し將に東京を出發せんとするに際し、京城の形勢は切迫し日淸兩國は交戰狀態に入つたのでこの計畫は中止となり先生は京都に歸り若王子の山莊に入つた

二十七、八年戰役中先生は京都の山莊に在つたが祖國の前途及び戰後の方策を見越して之を陛下に奏聞し又諸將官を著はして海內の士民を戒め戰後の[illegible]に及んでは對淸策を公にし支那に對して執るべき方針を明示し益々平和の政策に入りては更に支那の國情と事情通の人物を察し要路に獻策をする等多年の懸案を陽げて東亞の大計に誤りなからしめん事を努めたのであつたが就中功績の最も顯著なるは其の同志及び門下の士三百餘名を大本營に推薦して通譯に任じ從軍せしめた事であつた之等の通譯が敵兵相對に當り幾多の殊勳を奏した事實は周知のことであるが特に研究所の出身者並に關係者が先生の精神を體し敢て義勇奉公の誠を捧げた事は戰役中殉國の死を遂げ英靈を靖國神社に合祀された殉難九烈士山崎羔三郎、鐘崎三郎、藤崎秀、[illegible]武平、大熊鵬、猪田正吉、楠內友次郎、福原林平、石川伍一の諸士によつても知ることが出來る

先生の渡臺

日淸兩國の平和が回復すると先生は戰前に成功しなかつた東方通商協會の設立を期し先づ日淸兩國の經濟同盟を結ぶ必要を說き政府當局の贊成も得たので二十九年正月上海に渡つて戰後支那の實狀を視察し併て有力なる官紳と意見を交換して闡明しその所見を朝野の人達に發表した、而してその秋には將來の施設に資し度い考へから新領土臺灣及び南支諸港視察の計畫を樹て八月十五日神戶出帆、鹿兒島、大島、琉球を經つて九月二日臺北に着き府前街有馬出張所內の日本家屋に入つた、其位置は今の臺北驛前通消防詰所の裏手に當る先生の臺北生活はこの日から逝去の十月三十日迄五十九日に亙つたが着臺早々から嘗ての知己は勿論廣く內臺有力者に面會して臺灣の實情を聞き又視察もした結果何とか方法を講じ先づ以て內臺人間の融和を圖らねばならぬと考へ力を專らその點に注いだのであつたが先生の熱意は自ら內臺有力者の心を動かすに至り九月二十二日には艋舺の龍山寺で先生の歡迎會が催されることとなつた、當夜は水野民政局長、角田海軍部長を始め佐藤、鮫島の兩代議士、臺灣新報社長山下秀實、辨士李春生、大稻埕辨務署主理劉廷玉、大稻埕士商公會長[illegible]、艋舺士商公會長[illegible]等在臺北の文武官內臺民の主なる人々出席し席會の時に及んで先生は一場の演說を行つた、その要旨は日淸兩國和親の立場から先づ淸國の現狀を說き兩國協同の必要と發展の計畫を告げ次で內地から見た臺灣は國防上、經濟上の要地であるから內地人は宜しく臺灣を永住の地として臺灣人と互に協和し臺灣人を保護安撫し彼我共同の事業を經營し相提携して自他の福利增進を計るべく一方臺灣統治は內地に倣んで文物を發達し子弟の教育入學を獎勵して有爲な人物の養成を期すると共に豐富なる原料を利用して工業を興し內地人と協同して事業を經營し通商を盛んならしめ以て臺灣人士の名譽をあげしめよと云ふことであつたが民政局囑託[illegible]雅文之を官話に譯し[illegible]玉は更にこれを臺灣語に譯し二時間の長きに亙り深い感銘を一同に與へた、次で酒席に移るや當夜たる辨士李春生は「先生は自分が京都に於る知己であるが今回の來臺につき意見を問はんとして到たるものがある、今夕親しく教を仰ぐ機會を與へられたのである、今後我等は先生の示された所に從つて殖產興業に努力するであらう」と挨拶し次で水野民政局長は內地人を代表して先生の臨席を謝し併て「百般の施政は今や緒に就いたが官話の不通その他の事情に依り政府の方針如何を悟らざるものある爲め民庶上下多少の誤解なきに非ざるも要するにこの席たる下情の上達せざる爲めである、今官民一室に會し酒席の間に胸襟を披き談笑する今夕の如き盛會は恐らく曾てあらざるところ、余は官民和衷の緖についた事を慶賀するものである」と挨拶し「而してこの盛宴の起因は李春生氏が臺灣を代表して內地に遊び荒尾先生を訪問した結果に外ならない」と結んだ、實にこの歡迎會は領臺以來未曾有の盛會で文武官內臺民一堂の間に談笑して交情の融洽を致し上下內臺人間の事情を通ずるに最も好い機會となつた（つづく）

（寫眞は荒尾精の碑）

愛の赤道 (9)

竹田敏彥　作

都竹伸一　畫

陰と日向（二）

「ありがたう、上衣だよ」

二郎は、心からの感謝をこめて千鶴子に答へた。

「少しばかり石炭を入れておきますから、熱くなりましたら、おうめくださいまし」

「あ、ありがたう」

二郎は、焚口を出て行く千鶴子の足音を送りながら、[illegible]した淡しい感觸を濁切つた湯の中へ沈めた。

[illegible]の下に浮き漂ふ入湯の心地も忘れ難いが、祖國の秋冷を、浴場に映める味もまた旅路の味よさを覺えずにゐられなかつた。

彼は、足の指先まで見える透みきつた湯に頸まで浸して、ゆるやかにたゆたふ黃色の湯氣の中から高窓のガラス戸に覗く秋の夕空を仰いだ。

それは、何とも云へやうもない眺望だ」と呟やいた。彼は、あまりの快よさに、浴槽の緣に後頭部をもたせて、陶然と眼を瞑つた。

何かに感謝したいやうな氣持でさへあつた。

と—さつきの千鶴子の心遣ひと、素朴なエプロンの姿が思ひ出された。

「この風呂も、あの娘が焚くんだな」

ふと、そんなことを考へてゐると、突然、座敷の方から朗かに、晃子の陽氣な笑ひ聲が洩れた。

瞬間、冴えきつた二郎の安心地が、急に險しく硬直するのを覺えずにゐられなかつた。

「何として、兄貴も、同じ從妹な千鶴子のやうな娘に目をつけずに、あんな道樂な、晃子なんかを選んだのだらう」

千鶴子の家は、父仙助の投資から不運に沈んで、二郎の留守中仙助は病死し、母親は、名古屋の工場に働いてゐる長男の許に引取られて、寄邊もなくなつた千鶴子だけが、伯父の家大槻家に引取られたのである。しかし、晃子にしてみても、別に相違のある身分ではなかつた。晃子の實家は、早くから逼塞してしまひ、千鶴子と同然に、中途で女學校を退いた晃子は、何と思つたか、一人で東京へ出てきて、目黒の姉の緣先に厄介になりながら、丸の內邊の會社へタイピストとして通つてゐるのではないか。

容貌にしても、甲乙はなく、性質から見れば寧ろ雲泥の差だ、まして、千鶴子は大槻家につながる父の系統に屬し、晃子は、父の或る過失から入家した母方の立場ではないか。それが、一方はエプロンがけで、女中同樣に働いてゐるのに、一方は、まるで素知らぬ顏で主人筋の令孃のやうに振舞ひ、しかも兄の婚約者として、これを周圍が默認してゐる。

「何といふ片手落ちだ……」

二郎は、今朝も[illegible]の途々、兄の歡談の相手を肥れた時の千鶴子の橫顏や、容姿の節々に、思ひ寄つて、むしろ可憐らしさを覺えずにゐられなかつた。

「さうだ、あるひは、母の指金かも知れない」

二郎は、生みの母親ではあるが、日頃の性格を知つてゐるだけに、何か祭儀に似た愛情を感ぜずにゐられなかつた。

瞬間は、久し振りの陸省の挨拶や、あちらの生活などを訊かれたきりで、別に改まつた話もなく、引取つたので、事情のほどはまだよく知らないが、二郎の想像は、どうもそこへ落ちるのだつた。

「よーし、今夜は話が出るだらうから、その時によく訊いてみやう。まさか、兄貴の意向ぢやあるまい」

二郎は、こんなことを考へながら、暫らくは、石鹸を使ふのも忘れて、ぼんやり湯先へ湯にかかり浴びてゐた。

專賣特許
ゼオラ
藥用齒磨
ゼオラを使ひ始めてから齒の力がめつきり強くなつたと申されます、それは主劑ゼオライトの獨自効果です

萬媒
石堂　產婆學院四月新學期學生募集　女卒高小卒以上　洋裁　臺北若竹町[illegible]
昭和　洋裁　公認　四月八日開講　規則書進呈　臺北市[illegible]
興亞　洋裁　公認　四月五日開講　臺北市外三板橋[illegible]
和洋　裁縫　生徒募集　四月五日開講　臺北市[illegible]
生徒　募集　規則書[illegible]　臺北大和町二　土木測量[illegible]
看板　熟練工を募集す但し獨身者に限る　高雄市　川野工藝社
寫眞　燒付技師採用內地人に限る　五〇圓以上　臺北市榮町[illegible]　コノモト寫眞館
うば　を雇ひたし　臺北市大和町　稻田產婦人科醫院
內勤　女子三名採用高女卒內地人　給四五圓以上　年齡不問　榮町三　帝國生命
仲居　募集　初給五十圓　[illegible]
結婚　調査　迅速　正確　大和町三ノ二　[illegible]
尋犬　茶褐色ドーベルマン　行方不明　心當り御知らせ乞ふ　薄謝呈　電話二〇五二番　石黑
買家　部屋數三四間位　古家　交通便利な所を望む　大正町一の二六　臺電宿泊所　阿部

案內
眼科　三峽救生醫院　院主　醫博　文[illegible]
電話　賣買　金融　旭屋支店　京町四丁目　臺銀前　商品券賣入　電二〇三八
株へ　はまやへ　臺北京町四ノ二　電二二七〇八
印畫紙　サザナミ　FK　利根　オリエント　A・B・D・F　臺北榮町一丁目　西尾商會
カメラ　中古高價買入　臺北京町一　南光寫眞機店
映畫　出張映寫及貸付　十六ミリトーキー　臺北榮町　電二二四二〇　臺北光音會社
メガネ　專門　臺北榮町二ノ一〇　電四九五七　日光堂時計店
ラジオは　松田　電話三一三五
受信機　及部分品　各種スピーカ類入荷　臺北本町四丁目角　中川無線商會
ピアノ　オルガン　調律修理　臺北榮町　日本樂器會社　電四一二一
京染　と云へば是非のせの京染を御利用下さい　電話三三一一　のせ京染店
のせ　京染店の京都染と東京染　[illegible]
引越　荷造　運送　山村商會　北門町二四（州廳前）　電[illegible]
町の赤帽　小荷物運搬　凡ゆる御用に　電話九三八九番
梅肉エキス　[illegible]　臺北新榮町　[illegible]　生物藥化研究所
ドラミン　は飲んで效く　配給所　臺北大和町三ノ一　山下　有名藥店にあり
特許　商標　辨理士　[illegible]特許事務所　臺北市[illegible]
新古　日本刀賣買　鈴木斧弘堂　臺北市京町一ノ四九　電四〇一〇
冷藏庫　特許製作　八木　臺北兒玉町　[illegible]
刀劍　專門　本町一郵便局前　電四四　小野刀劍店
ワイシャツ　ネクタイ　最新柄　臺北榮町　電2022　村井商行
金屬　[illegible]
新鐵　カスガヒ在庫豐富　臺北市松山三三三　佐藤商事
冷凍機　中古品高價買入　臺北市西門町一　ヒカル工業所
タネ　各種[illegible]　カタログ進呈　臺北市大正町二ノ一八　電三三三二　[illegible]
ルックサック　大小各種　臺北公會堂前　スズキ
運動服　ニッカーズボン　臺北公會堂前　スズキ
ベニヤ板　各種販賣　電話二二六四番　臺南市[illegible]町　新榮興商店

製作製材と木工機械販賣
丸鋸帶鋸
乞照會！！　カタログ進呈
斯界の權威
工藤商店
大阪市港區田中町七丁目六〇　電話港[illegible]　振替大阪[illegible]

VEGELINE
斯界に多大の信用と愛用者を有する
毛髮養料
ベジリン香水
東京日本橋本石町
本舗　リーガル商會

ニキビ用
モンココ洗顏クリーム
今までにない洗顏クリームです。お使ひ下さればすぐわかります。ニキビとりの藥品や化粧品をつけたあとの熱みしたりしみたりがなく、皮膚からニキビが退いてゆく感じがよくわかります。
アジアの夜明け　一億一心頑張りませう。

新制電氣講義
校外生募集
今や日本は東亞共榮圈確立に青年電氣技術者を持つこと切なり、地方青年諸君は三十餘年の經驗を有する本校獨特の仕組による特殊の通信教授たる此の新體制の電氣講義録により速に電氣技術者となり奉公せられよ。每月一冊、一年半卒業
四月一日新學期開始
入學案內進呈
東京神田錦町　電機學校　振替東京一三一四八

齒痛に頭痛はガオガンに限る

金儲大王
リード式穀物膨脹機
五合の米とトウモロコシが八升の菓子原料となる
使用簡易　最新型各種　木炭利用
大阪市北區[illegible]　兒島製作所

腦
胃藥五拾錢分と強腦寶膏錄を無代進呈
願成閣

せきつゐ病
カリエス、神經痛、骨膜炎
播州明石市人丸下　元木春龍藥本家

イブセン
IBSEN
總て滿點！
先づ御使用あれ

丸久式製粉機
丸久製粉機
用途　米、小麥、石灰、[illegible]
能率　石臼の三倍
カタログ進呈
製造元　久保田工業所

月おくれ雜誌販賣店